

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1補助金の概要

補助金名称	こたんまつり開催負担金										
補助金の性格	団体への事業費補助					始期	S32		終期	-	
予算事業名	イベント推進費					(事業コード)	071222				
所管部署	観光スポーツ交流部			観光課			係	電話番号		8-5464	
交付先(団体,個人等)	こたんまつり実行委員会										
交付目的	(対象) 誰,何に対して	こたんまつり実行委員会									
	(意図) どういう状態にしたい	神居古潭地域の魅力や特産物の他, アイヌ伝統文化を知ってもらふ。									
対象事業等の内容	こたんまつりの開催										
積算方法	負担金対象経費の90/100以内とし, 毎年度予算の範囲内において定める。										
事業量指標と過去5年間の実績	① 開催日数					②					単位:
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	単位:
	1	1	1	1	-						
成果指標と過去5年間の実績	① 観客動員数					②					単位:
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	単位:
	5,000	10,000	4,500	1,800	-						

2収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越	64	190	64	116	110	
	市補助金	1,000	600	600	0	600	
	協議会負担	1,700	200	200	0	200	
	その他					445	
	その他	582	302	490	0		
	収入合計	3,346	1,292	1,354	116	1,355	
	市補助率(%)	29.9%	46.4%	44.3%	0.0%	44.3%	
支出合計	3,156	1,228	1,239	6	1,355		
	うち食糧費, 交際費						
次年度繰越	190	64	115	110	0		
市負担額	一般財源	1,000	600	600	0	600	
	特定財源						
	人件費	正職員	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
		人工金額	721	728	737	737	747
	臨時・嘱託/会計年度任用職員						
その他事務費							
合計	1,721	1,328	1,337	737	1,347		
受益対象者数	10,000	4,500	1,800	0	1,800		
補助金単位コスト(単位:円)	172	295	743	0	748		
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令, 条例, 規則, 要綱等に基づいている ◆ 支出目的, 支出範囲が法令の規定に抵触しない					
	団体の運営, 会計処理等	◆ 交付申請等が定めたとおりになっている ◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的, 事業内容等と補助目的との整合性がとれている ◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し, 妥当である					
会計処理については, 会計管理者のもとで行われており, また, 総会時において, 監査から会計監査報告を受けていることから適正に処理されている。							

※人件費(正職員分)は, 平成29年度7,205千円, 平成30年度7,282千円, 令和元年度7,369千円, 令和2年度7,366千円, 令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価	
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 合致しない
	(3)補助率の参考基準	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◆ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> □ 合致する ■ 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上 	<ul style="list-style-type: none"> □ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) ■ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する(※左欄2項目とも適合) □ 概ね合致する □ 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 令和2年度はイベントが中止となったが, 例年は, 観光客や市民がこたんまつりに来場することで, 宿泊・飲食業をはじめ市内の様々な産業に経済効果が及ぶことから, 不特定多数の市民に直接・間接的に効果が行きわたっている。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない	
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 市民にアイヌ文化を知る機会を提供する数少ない機会であり, アイヌ文化と観光を結び付けることで観光振興につながるため。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない	
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止となったが, アイヌ文化と観光を結び付けることで観光客の誘致につなげる重要なコンテンツであり, 近年の平均では約4千人の観光客等を動員し観光振興に資する効果があり, 補助金における費用対効果が大きい。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない	
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 事業の必要性及び関与の度合いを勘案し, 補助率を設定している。 必要性の高い事業であるが, 補助金を交付しなければ実施不可能であるため, 見直し期間の設定はできない。		

4平成28年度行政評価への対応状況等
(行政評価)

補助金名称(当時)	こたんまつり開催負担金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
継続	—
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
—	

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	特になし
解決に向けた取組	

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	本市の観光振興に寄与すること, また, アイヌ伝統文化の継承にも役立っており, 本市負担金への依存度の高さからも見直しによる悪影響を考慮すると継続する必要がある。
外部評価	—	—
2次評価	継続	—

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1 補助金の概要

補助金名称	あさひかわ観光誘致宣伝協議会負担金										
補助金の性格	団体への補助(運営費・事業費)					始期	H9		終期	-	
予算事業名	観光プロモーション推進費					(事業コード)	072118				
所管部署	観光スポーツ交流部			観光課			係	電話番号		8-5464	
交付先(団体,個人等)	あさひかわ観光誘致宣伝協議会										
交付目的	(対象) 誰, 何に対して	あさひかわ観光誘致宣伝協議会									
	(意図) どういう状態にしたい	旭川圏域における観光の通年化及び滞在型観光の促進, 旭川空港の利用拡大を図る。									
対象事業等の内容	観光客誘致促進事業										
積算方法	補助対象経費内とし, 毎年度予算の範囲内において定める。										
事業量指標と過去5年間の実績	① プロモーション実施件数					② 招へい事業実施件数					
	単位: 件					単位: 件					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
	23	23	22	16	16	12	14	9	7	0	
成果指標と過去5年間の実績	① 観光入込客数					② 観光客宿泊延数					
	単位: 人					単位: 泊					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
	5,310,000	5,357,000	5,270,000	5,079,300	1,700,300	857,100	935,600	1,083,100	905,800	403,200	

2 収支状況等

単位: 千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越	3,124	2,275	3,422	2,511	2,059	
	市負担金	12,000	9,000	8,700	2,200	5,700	
	市特別事業負担金	3,000	5,000	5,000	4,600	2,000	
	他負担金	3,350	3,350	3,350	1,675	2,250	
	その他助成金	3,000	3,000	4,000	3,000	3,000	
	その他	3	1,186	0	0	0	
	収入合計	24,477	23,811	24,472	13,986	15,009	
市補助率(%)	61.3%	58.8%	56.0%	48.6%	51.3%		
支出合計	22,202	20,389	21,961	11,927	15,009		
うち食糧費, 交際費	1,454	1,019	802	0	0		
次年度繰越	2,275	3,422	2,511	2,059	0		
市負担額	一般財源	13,500	11,500	11,200	4,500	4,700	
	特定財源	1,500	2,500	2,500	2,300	3,000	
	人件費	正職員	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1
		人工金額	15,131	15,292	15,475	15,469	15,679
	臨時・嘱託/会計年度任用職員						
その他事務費							
合計	30,131	29,292	29,175	22,269	23,379		
受益対象者数	338,558	335,323	332,610	329,822	330,000		
補助金単位コスト(単位: 円)	89	87	88	68	71		
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令, 条例, 規則, 要綱等に基づいている ◆ 支出目的, 支出範囲が法令の規定に抵触しない					
	団体の運営, 会計処理等	◆ 交付申請等が定めたとおりになっている ◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的, 事業内容等と補助目的との整合性がとれている ◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し, 妥当である					

※人件費(正職員分)は, 平成29年度7,205千円, 平成30年度7,282千円, 令和元年度7,369千円, 令和2年度7,366千円, 令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価	
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象 	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 概ね合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(2)受益者負担	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(3)補助率の参考基準	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◆ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 合致する <input checked="" type="checkbox"/> 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 有(4年未満) <input type="checkbox"/> 有(4年以上) <input type="checkbox"/> 継続4年未満 <input type="checkbox"/> 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) <input checked="" type="checkbox"/> 同一団体補助だが, 見直し設定していない <input type="checkbox"/> 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 合致する(※左欄2項目とも適合) <input type="checkbox"/> 概ね合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 観光は関連産業の裾野が広く, 地域全体に経済発展をもたらす原動力になり得る。	(左の内容を踏まえての評価) <input checked="" type="checkbox"/> 公益性が高い <input type="checkbox"/> 公益性が高いとは言えない	
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない。	(左の内容を踏まえての評価) <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性が高いとは言えない	
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 新型コロナウイルス感染症の影響により, 観光入込客数は一時的に前年比9割以上の減となったが, 各種事業の実施により前年比8割程度まで持ち直した時期があり, 落ち込んだ観光需要の回復等に寄与した。	(左の内容を踏まえての評価) <input checked="" type="checkbox"/> 効果が高い <input type="checkbox"/> 効果が高いとは言えない	
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 事業の必要性及び市の関与の度合いを勘案し, 補助率を設定している。 本市の観光誘致に重要な役割を担う団体であり, 仮に補助金の見直しを行えば運営が不可能となることから, 見直し期間の設定はしない。		

4平成28年度行政評価への対応状況等
(行政評価)

補助金名称(当時)	あさひかわ観光誘致宣伝協議会等負担金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
継続	-
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
-	

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	-
解決に向けた取組	-

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	旭川圏域の観光振興を図るため, 継続する必要がある。
外部評価	-	-
2次評価	継続	-

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1 補助金の概要

補助金名称	旭川冬まつり開催負担金																																																
補助金の性格	団体への補助(運営費・事業費)					始期	S35		終期	-																																							
予算事業名	冬季観光滞在促進費					(事業コード)	072119																																										
所管部署	観光スポーツ交流部			観光課			係	電話番号		8-5463																																							
交付先(団体,個人等)	旭川冬まつり実行委員会																																																
交付目的	(対象) 誰,何に対して		旭川冬まつり実行委員会																																														
	(意図) どういう状態にしたい		観光客の誘致及び関連事業をはじめとする地域経済の活性化																																														
対象事業等の内容	旭川冬まつりの開催																																																
積算方法	負担金対象経費の90/100以内とし,毎年度予算の範囲内において定める。																																																
事業量指標と過去5年間の実績	① 開催日数					②																																											
	単位:日					単位:																																											
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02																																							
6					6					-																																							
成果指標と過去5年間の実績	① 観光動員数					② 観光客宿泊延数																																											
	単位:泊					単位:泊																																											
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02																																							
968,000					976,000					983,000					705,000					-					857,100					935,600					1,083,100					905,800					403,200				

2 収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越	5,230	2,167	5,043	3,830	4,413	
	市補助金	51,500	54,000	54,300	5,300	54,000	
	他負担金	4,530	4,600	4,815	3,200	4,815	
	協賛金	13,150	15,539	14,172	0	12,000	
	事業収入	5,908	7,051	7,512	0	6,000	
	その他	0	0	6	1	6	
	収入合計	80,318	83,357	85,848	12,331	81,234	
市補助率(%)	64.1%	64.8%	63.3%	43.0%	66.5%		
支出合計	78,151	78,314	82,018	7,918	81,234		
うち食糧費,交際費	255	301	0	0	0		
次年度繰越	2,167	5,043	3,830	4,413	0		
市負担額	一般財源	51,500	52,500	54,300	5,300	54,000	
	特定財源	0	1,500	0	0	0	
	人件費	正職員	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2
		人工金額	15,851	16,020	16,212	16,205	16,425
	臨時・嘱託/会計年度任用職員	1,327	914	721	731	731	
その他事務費							
合計	68,678	70,934	71,233	22,236	71,156		
受益対象者数	976,000	983,000	705,000	-	705,000		
補助金単位コスト(単位:円)	70	72	101		101		
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない					
	団体の運営,会計処理等	◆ 交付申請等が定めたとおりになっている ◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている					
◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である 会計処理については,会計管理者の元で行われており,また,総会時において,監査から会計監査報告を受けていることから適正に処理されている。							

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価	
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◆ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 合致しない
	(3)補助率の参考基準	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◆ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> □ 合致する ■ 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上 	<ul style="list-style-type: none"> □ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) ■ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する(※左欄2項目とも適合) □ 概ね合致する □ 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により, 例年どおりの開催を中止しWebを活用した開催となったが, 市民や医療従事者等にエールを送るという公共的な事業を実施しており, 公益性が高い。	(左の内容を踏まえての評価) <ul style="list-style-type: none"> ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない 	
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 市民に冬季の賑わいを提供するとともに, 冬季観光客の誘致に大きな影響力があるため。また, 同規模・同内容のイベントを実施できる市内唯一の団体であるため。	(左の内容を踏まえての評価) <ul style="list-style-type: none"> ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない 	
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴いオンラインでの開催となったが, 例年, 開催期間中はホテルの稼働率も9割を超えるなど, 前後の月に比べて宿泊者数が増加することから観光振興に資する効果があり, 補助金における費用対効果大きい。	(左の内容を踏まえての評価) <ul style="list-style-type: none"> ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない 	
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 事業の必要性及び関与の度合いを勘案し, 補助率を設定しているため。また, 必要性の高い事業であるが, 補助金を交付しなければ実施不可能であるため, 見直し期間の設定はできない。		

4平成28年度行政評価への対応状況等

(行政評価)

補助金名称(当時)	旭川冬まつり開催負担金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
継続	事業収入の増加等に取り組むこと。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
平成30年度	旭川冬まつりオリジナルグッズの販売促進を図ることで, 前年度を上回る収入を得た。

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
-	

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	-
解決に向けた取組	-

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	本市の冬季における観光客誘致に重要なイベントであり, また, 市民にも長年親しまれているイベントであることから, 今後も継続していく必要がある。
外部評価	—	—
2次評価	継続	引き続き事業収入の増加等に取り組むこと。

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1 補助金の概要

補助金名称	閑散期観光誘致促進負担金										
補助金の性格	団体への補助(運営費・事業費)					始期	H29		終期	R2	
予算事業名	冬季観光滞在促進費					(事業コード)	072119				
所管部署	観光スポーツ交流部			観光課			係	電話番号		8-5464	
交付先(団体,個人等)	あさひかわ観光誘致宣伝協議会										
交付目的	(対象) 誰,何に対して	あさひかわ観光誘致宣伝協議会									
	(意図) どういう状態にしたい	旭川圏域における観光の通年化及び滞在型観光の促進,旭川空港の利用拡大を図る。									
対象事業等の内容	閑散期観光誘致促進事業										
積算方法	補助対象経費内とし,毎年度予算の範囲内において定める。										
事業量指標と過去5年間の実績	① プロモーション実施件数					② 招へい事業実施件数					
	単位:件	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
		23	22	16	16		14	9	7	0	
成果指標と過去5年間の実績	① 観光入込客数					② 観光客宿泊延数					
	単位:人	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
		-	5,357,000	5,270,000	5,079,300	1,700,300	-	935,600	1,083,100	905,800	403,200

2 収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越	3,124	2,275	3,422	2,511		
	市負担金	12,000	9,000	8,700	2,200		
	市特別事業負担金	3,000	5,000	5,000	4,600		
	他負担金	3,350	3,350	3,350	1,675		
	その他助成金	3,000	3,000	4,000	3,000		
	その他	3	1,186	0	0		
	収入合計	24,477	23,811	24,472	13,986		
	市補助率(%)	49.0%	37.8%	35.6%	15.7%		
	支出合計	22,202	20,389	21,961	11,927		
	うち食糧費,交際費	1,454	1,019	802	0		
次年度繰越	2,275	3,422	2,511	2,059			
市負担額	一般財源	13,500	11,500	11,200	4,500		
	特定財源	1,500	2,500	2,500	2,300		
	人件費	正職員	2.1	2.1	2.1	2.1	
		人工金額	15,131	15,292	15,475	15,469	
	臨時・嘱託/会計年度任用職員						
	その他事務費						
合計	30,131	29,292	29,175	22,269			
受益対象者数	338,558	335,323	332,610	329,822			
補助金単位コスト(単位:円)	89	87	88	68			
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない					
	団体の運営,会計処理等	◆ 交付申請等が定めたとおりになっている ◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている ◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である					

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価	
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 合致しない
	(3)補助率の参考基準	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◆ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> □ 合致する ■ 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◇ 終期末設定で, 補助継続4年以上 	<ul style="list-style-type: none"> □ 有(4年未満) ■ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) □ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する(※左欄2項目とも適合) □ 概ね合致する □ 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 観光は関連産業の裾野が広く, 地域全体に経済発展をもたらす原動力になり得る。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない	
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない	
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 新型コロナウイルス感染症の影響により, 観光入込客数は一時的に前年比9割以上の減となったが, 各種事業の実施により前年比8割程度まで持ち直した時期があり, 落ち込んだ観光需要の回復等に寄与した。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない	
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 事業の必要性及び市の関与の度合いを勘案し, 補助率を設定している。		

4平成28年度行政評価への対応状況等
(行政評価)

補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
-	
(2)対応年度	具体的な内容と効果
-	

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
-	

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	
-	
解決に向けた取組	
-	

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	終了	
外部評価	—	—
2次評価	終了	新型コロナウイルス感染症対策として実施した事業であり, 終了する。

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1補助金の概要

補助金名称	旭川夏まつり開催負担金																				
補助金の性格	団体への補助(運営費・事業費)					始期	S37		終期	-											
予算事業名	イベント推進費					(事業コード)	072122														
所管部署	観光スポーツ交流部			観光課			係	電話番号		8-5467											
交付先(団体,個人等)	旭川夏まつり実行委員会																				
交付目的	(対象) 誰,何に対して		旭川夏まつり実行委員会																		
	(意図) どういう状態にしたい		本市を代表する観光行事として育成するとともに,本市のイメージアップと滞在型観光の促進を通じて本市経済を発展させる																		
対象事業等の内容	旭川夏まつりの開催																				
積算方法	負担金対象経費の90/100以内とし,毎年度予算の範囲内において定める。																				
事業量指標と過去5年間の実績	① 開催日数					②															
	単位:日					単位:															
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02											
<table border="1"> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>											3	3	3	3	-						
3	3	3	3	-																	
成果指標と過去5年間の実績	① 観客動員数					②															
	単位:人					単位:															
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02											
<table border="1"> <tr> <td>971,000</td> <td>910,000</td> <td>950,000</td> <td>875,000</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>											971,000	910,000	950,000	875,000	-						
971,000	910,000	950,000	875,000	-																	

2収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越	984	1,452	1,229	1,353	1,353	
	市負担金	9,000	9,000	11,000	0	9,300	
	他負担金	7,780	7,810	7,810	0	7,810	
	協賛金	3,030	3,015	3,000	0	3,000	
	寄附金	1,182	1,127	1,102	0	1,115	
	補助金	0	0	0	0	0	
	その他	29	8	36	0	0	
	収入合計	22,005	22,412	24,177	1,353	22,578	
	市補助率(%)	40.9%	40.2%	45.5%	0.0%	41.2%	
	支出合計	20,554	21,183	22,824	0	22,578	
うち食糧費,交際費							
次年度繰越	1,451	1,299	1,353	1,353	0		
市負担額	一般財源	9,000	9,000	11,000	0	9,300	
	特定財源	0					
	人件費	正職員	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
		人工金額	2,882	2,913	2,948	2,946	2,986
	臨時・嘱託/会計年度任用職員						
その他事務費							
合計	11,882	11,913	13,948	2,946	12,286		
受益対象者数	910,000	950,000	875,000	0	850,000		
補助金単位コスト(単位:円)	13	13	16		14		
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない ◆ 交付申請等が定めたとおりになっている					
	団体の運営,会計処理等	◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている ◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である 会計処理については,会計管理者のもとで行われており,また,総会時において,監査から会計監査報告を受けていることから適正に処理されている。					

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費 ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担 ◆ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外	■ 合致する □ 合致しない
	(3)補助率の参考基準 ◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◆ 上記以外	□ 合致する ■ 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定) ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上	□ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) ■ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠) ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外	■ 合致する □ 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付 ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外	■ 合致する(※左欄2項目とも適合) □ 概ね合致する □ 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 令和2年度はイベントが中止となったが, 例年は, 夏まつりの開催により, 市民や観光客が中心市街地で消費を伴う活動を行うことで, 経済効果が生まれ, 不特定多数の市民に直接・間接的に効果が行きわたっている。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 具体的に記入する) 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止となったが, イベントが開催されると90万人前後の集客があることから事業の費用対効果が大きい。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 事業の必要性及び市の関与の度合いを勘案し, 補助率を設定している。 必要性の高い事業であるが, 補助金を交付しなければ実施不可能であるため, 見直し期間は設定しない。	

4平成28年度行政評価への対応状況等
(行政評価)

補助金名称(当時)	旭川夏まつり開催負担金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
継続	-
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
-	

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	-
解決に向けた取組	-

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	夏の旭川を代表するイベントであり, 負担金の見直しにともなう開催規模の縮小などの悪影響を考慮すると今後も継続していく必要がある。
外部評価	-	-
2次評価	継続	-

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1補助金の概要

補助金名称	北海道音楽大行進開催負担金																				
補助金の性格	団体への補助(運営費・事業費)					始期	S4		終期	-											
予算事業名	イベント推進費					(事業コード)	072122														
所管部署	観光スポーツ交流部			観光課			係	電話番号		8-5467											
交付先(団体,個人等)	北海道音楽大行進実行委員会																				
交付目的	(対象) 誰,何に対して	北海道音楽大行進実行委員会																			
	(意図) どういう状態にしたい	音楽の振興と旭川市のイメージアップを図る																			
対象事業等の内容	北海道音楽大行進の開催																				
積算方法	負担金対象経費の70/100以内とし,毎年度予算の範囲内において定める。																				
事業量指標と過去5年間の実績	① 開催日数					②															
	単位:日					単位:															
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02											
<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>											1	1	1	1	-						
1	1	1	1	-																	
成果指標と過去5年間の実績	① 観客動員数					②															
	単位:人					単位:															
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02											
<table border="1"> <tr> <td>雨天中止</td> <td>131,000</td> <td>148,000</td> <td>143,000</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>											雨天中止	131,000	148,000	143,000	-						
雨天中止	131,000	148,000	143,000	-																	

2収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越	1,778	837	1,061	1,098	947	
	市補助金	2,400	2,400	2,400	0	2,400	
	協議会負担	2,470	2,470	2,470	0	2,270	
	協賛金	20	20	20	0	20	
	記念品販売収入	384	600	574	0	600	
	その他	6	482	420	0	550	
	収入合計	7,058	6,809	6,945	1,098	6,787	
	市補助率(%)	34.0%	35.2%	34.6%	0.0%	35.4%	
	支出合計	6,220	5,746	5,847	151	6,787	
	うち食糧費,交際費						
次年度繰越	837	1,061	1,098	947	0		
市負担額	一般財源	2,400	2,400	2,400	0	2,400	
	特定財源						
	人件費	正職員	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1
		人工金額	721	728	737	0	747
	臨時・嘱託/会計年度任用職員						
	その他事務費						
合計	3,121	3,128	3,137	0	3,147		
受益対象者数	131,000	148,000	143,000	0	143,000		
補助金単位コスト(単位:円)	24	21	22		22		
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない					
	団体の運営,会計処理等	◆ 交付申請等が定めたとおりになっている ◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている					
		◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である 会計処理については,会計管理者のもとで行われており,また,総会時において,監査から会計監査報告を受けていることから適正に処理されている。					

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費 ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担 ◆ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外	■ 合致する □ 合致しない
	(3)補助率の参考基準 ◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◆ 上記以外	□ 合致する ■ 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定) ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上	□ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) ■ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠) ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外	■ 合致する □ 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付 ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外	■ 合致する(※左欄2項目とも適合) □ 概ね合致する □ 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 令和2年度はイベントが中止となったが, 例年は, イベントの開催により, 参加者が市外からも集まることで宿泊施設や飲食店等への経済効果が生まれ, 不特定多数の市民に直接・間接的に効果が行きわたっている。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 具体的に記入する) 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止となったが, イベントが開催されると14万人前後の集客があることから事業の費用対効果が大きい。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 事業の必要性及び関与の度合いを勘案し, 補助率を設定している。 必要性の高い事業であるが, 補助金を交付しなければ実施不可能であるため, 見直し期間の設定はできない。	

4平成28年度行政評価への対応状況等
(行政評価)

補助金名称(当時)	北海道音楽大行進開催負担金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
継続	—
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
—	

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	—
解決に向けた取組	—

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	音楽大行進は80年以上の歴史を持つ旭川を代表するイベントであり, 今後も継続していく必要がある。
外部評価	—	—
2次評価	継続	—

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1 補助金の概要

補助金名称	旭川教育旅行等割引券発行事業負担金										
補助金の性格	団体への事業費補助					始期	R2		終期	R2	
予算事業名	教育旅行等誘致事業費					(事業コード)	072139				
所管部署	観光スポーツ交流部			観光課			係	電話番号		8-5467	
交付先(団体,個人等)	あさひかわプレミアム付商品券等発行事業実行委員会										
交付目的	(対象) 誰,何に対して		あさひかわプレミアム付商品券等発行事業実行委員会								
	(意図) どういう状態にしたい		新型コロナウイルス感染症の影響により,延期や変更となっている教育旅行等の市内での安全安心な実施の促進及び市内宿泊・観光・飲食事業者等の活性化を図る								
対象事業等の内容	旭川教育旅行等割引券の発行										
積算方法	事業費の全額を,本市からの負担金を財源としているため,補助率を定めない。										
事業量指標と過去5年間の実績	① 割引券利用可能施設数					② 交付実績(人数)					
	単位:施設					単位:人					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
					2,283					1,982	
成果指標と過去5年間の実績	① 使用実績					② 割引券換金額					
	単位:枚					単位:千円					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
					7,434					3,717	

2 収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越						
	市負担金				3,858		
	協議会負担						
	その他						
	収入合計				3,858		
	市補助率(%)				100.0%		
	支出合計				3,858		
うち食糧費,交際費							
次年度繰越				0			
市負担額	一般財源				0		
	特定財源				3,858		
	人件費	正職員				0.1	
		人工金額				737	
	臨時・嘱託/会計年度任用職員						
	その他事務費						
合計				4,595			
受益対象者数				1,982			
補助金単位コスト(単位:円)				2,318			
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない					
	団体の運営,会計処理等	◆ 交付申請等が定めたとおりになっている ◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている ◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である 会計処理については,会計管理者のもとで行われており,また,総会時において,監査から会計監査報告を受けていることから適正に処理されている。					

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価	
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◆ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> □ 合致する ■ 合致しない
	(3)補助率の参考基準	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◆ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> □ 合致する ■ 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◇ 終期末設定で, 補助継続4年以上 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) □ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する(※左欄2項目とも適合) □ 概ね合致する □ 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 新型コロナウイルス感染症の影響により延期や変更となっている教育旅行等の実施の促進を図り, 本市経済の回復につなげようとするものであることから, 公益性が高い。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない	
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 観光需要回復のために, 市内宿泊施設や市内飲食店の支援が求められており, 必要性が高かった。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない	
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 新型コロナウイルス感染症の影響により延期や変更となっている教育旅行等の実施の促進を図ることで, 例年は1年間に3~4千人の来旭があるところ, 4か月間で2千人近い修学旅行生等を誘致することができ宿泊客数の促進及び地域経済の活性化に寄与した。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない	
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 1(2), (3) 新型コロナウイルス感染症の影響で宿泊客数が大幅に減少した市内宿泊施設及び飲食店を支援するため, また, 全額, 国の臨時交付金の対象経費として実施したものであるため。		

4平成28年度行政評価への対応状況等
(行政評価)

補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(その他の見直し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	
解決に向けた取組	

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	終了	
外部評価	—	—
2次評価	終了	新型コロナウイルス感染症対策として実施した事業であり, 終了する。

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1 補助金の概要

補助金名称	旭川飲食おもてなし割引券発行事業負担金										
補助金の性格	団体への事業費補助					始期	R2		終期	R2	
予算事業名	飲食おもてなし事業費					(事業コード)	072141				
所管部署	観光スポーツ交流部			観光課			係	電話番号		8-5464	
交付先(団体,個人等)	あさひかわプレミアム付商品券等発行事業実行委員会										
交付目的	(対象) 誰,何に対して		あさひかわプレミアム付商品券等発行事業実行委員会								
	(意図) どういう状態にしたい		旭川飲食おもてなし割引券発行事業(宿泊施設において,市内飲食店で利用できるクーポンを配付する)を実施し,宿泊客数の増加及び地域経済の活性化を図る。								
対象事業等の内容	旭川飲食おもてなし割引券発行事業の実施										
積算方法	事業費の全額を,本市からの負担金を財源としているため,補助率を定めない。										
事業量指標と過去5年間の実績	① 割引券配付宿泊施設数					② 割引件利用可能飲食店数					
	単位:施設					単位:数					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
					30					758	
成果指標と過去5年間の実績	① おもてなしクーポン換金額					②					
	単位:千円					単位:					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
					169,772						

2 収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越						
	市補助金				178,114		
	協議会負担						
	その他						
	収入合計				178,114		
	市補助率(%)				100.0%		
	支出合計				178,114		
うち食糧費,交際費							
次年度繰越				0			
市負担額	一般財源						
	特定財源				178,114		
	人件費	正職員				0.1	
		人工金額				737	
	臨時・嘱託/会計年度任用職員						
	その他事務費						
合計				178,851			
受益対象者数				30			
補助金単位コスト(単位:円)				5,961,700			
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令, 条例, 規則, 要綱等に基づいている ◆ 支出目的, 支出範囲が法令の規定に抵触しない					
	団体の運営, 会計処理等	◆ 交付申請等が定めたとおりになっている ◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的, 事業内容等と補助目的との整合性がとれている ◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し, 妥当である 会計処理については, 会計管理者のもとで行われており, また, 総会時において, 監査から会計監査報告を受けていることから適正に処理されている。					

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費 ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担 ◇ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◆ 上記以外	□ 合致する ■ 合致しない
	(3)補助率の参考基準 ◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◆ 上記以外	□ 合致する ■ 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定) ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◇ 終期末設定で, 補助継続4年以上	■ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) □ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠) ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外	■ 合致する □ 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付 ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外	■ 合致する(※左欄2項目とも適合) □ 概ね合致する □ 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内宿泊施設を支援することで, 本市経済の回復につなげようとするものであることから, 公益性が高い。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 観光需要回復のために, 市内宿泊施設や市内飲食店の支援が求められており, 必要性が高かった。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 新型コロナウイルス感染症の影響により, 観光入込客数は一時的に前年比9割以上の減となったが, 各種事業の実施により前年比8割程度まで持ち直した時期があり, 市内宿泊施設や飲食店を支援することで, 宿泊客数の促進及び地域経済の活性化に寄与した。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 1(2), (3) 新型コロナウイルス感染症の影響で宿泊客数が大幅に減少した市内宿泊施設及び飲食店を支援するため, また, 全額, 国の臨時交付金の対象経費として実施したものであるため。	

4平成28年度行政評価への対応状況等
(行政評価)

補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	
解決に向けた取組	

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	終了	
外部評価	—	—
2次評価	終了	新型コロナウイルス感染症対策として実施した事業であり, 終了する。

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1 補助金の概要

補助金名称	旭川宿泊応援事業負担金											
補助金の性格	団体への事業費補助					始期	R2		終期	R3		
予算事業名	旭川宿泊応援事業費					(事業コード)	072142					
所管部署	観光スポーツ交流部			観光課			係	電話番号		8-5464		
交付先(団体,個人等)	旭川宿泊応援事業実行委員会											
交付目的	(対象) 誰,何に対して		旭川宿泊応援事業実行委員会									
	(意図) どういう状態にしたい		割引商品を販売する宿泊施設に対し,補助金を交付し,観光需要の促進を図る。									
対象事業等の内容	旭川宿泊応援事業(あさっぴー割)の実施											
積算方法	事業費の全額を,本市からの負担金を財源としているため,補助率を定めない。											
事業量指標と過去5年間の実績	① 旭川宿泊応援事業参加宿泊施設					単位:施設		②				
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	単位:	
					28							
成果指標と過去5年間の実績	① あさっぴー割商品宿泊延泊数					単位:泊		②				
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	単位:	
					10,587							

2 収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越						
	市補助金				44,744		
	協議会負担						
	その他						
	収入合計				44,744		
	市補助率(%)				100.0%		
	支出合計				44,744		
	うち食糧費,交際費						
	次年度繰越				0		
市負担額	一般財源						
	特定財源				44,744		
	人件費	正職員				0.1	
		人工金額				737	
	その他事務費						
合計				45,481			
受益対象者数					28		
補助金単位コスト(単位:円)					1,624,321		
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない					
	団体の運営,会計処理等	◆ 交付申請等が定めたとおりになっている ◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている					
		◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である 会計処理については,会計管理者のもとで行われており,また,総会時において,監査から会計監査報告を受けていることから適正に処理されている。					

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価	
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◆ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> □ 合致する ■ 合致しない
	(3)補助率の参考基準	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◆ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> □ 合致する ■ 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◇ 終期末設定で, 補助継続4年以上 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) □ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する(※左欄2項目とも適合) □ 概ね合致する □ 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内宿泊施設を支援することで, 本市経済の回復につなげようとするものであることから, 公益性が高い。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない	
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 観光需要回復のために, 割引商品を販売する市内宿泊施設の支援が求められており, 必要性が高かった。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない	
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 新型コロナウイルス感染症の影響により, 観光入込客数は一時的に前年比9割以上の減となったが, 各種事業の実施により前年比8割程度まで持ち直した時期があり, 市内宿泊施設を支援することで, 宿泊客数の促進及び地域経済の活性化に寄与した。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない	
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 1(2), (3) 新型コロナウイルス感染症の影響で宿泊客数が大幅に減少した市内宿泊施設を支援するため, また, 全額, 国の臨時交付金の対象経費として実施したものであるため。		

4平成28年度行政評価への対応状況等
(行政評価)

補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
--------	-----------

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	
解決に向けた取組	

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	終了	
外部評価	—	—
2次評価	終了	新型コロナウイルス感染症対策として実施した事業であり, 終了する。

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1 補助金の概要

補助金名称	観光ボランティア研修事業補助金										
補助金の性格	団体への事業費補助					始期	H25		終期	-	
予算事業名	観光振興行政費					(事業コード)		072114			
所管部署	観光スポーツ交流部			観光課			係	電話番号		8-5465	
交付先(団体,個人等)	旭川観光ボランティア協議会										
交付目的	(対象) 誰,何に対して		旭川観光ボランティア協議会								
	(意図) どういう状態にしたい		観光客に対するホスピタリティの向上, 活気ある地域づくり								
対象事業等の内容	観光ボランティアの育成を目的とした研修会等の開催										
積算方法	観光ボランティア協会の研修に要する経費とし, 毎年度予算の範囲で定める。										
事業量指標と過去5年間の実績	① 研修会開催回数					②					単位:
	単位:回					単位:					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
	7	7	7	7	1						
成果指標と過去5年間の実績	① 観光入込客数					②					単位:
	単位:人					単位:					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
	5,310,000	5,357,000	5,270,000	5,079,300	1,700,300						

2 収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	市補助金	460	460	460	160	460	
	協議会負担	120	240	132	1	240	
	収入合計	580	700	592	161	700	
	市補助率(%)	79.3%	65.7%	77.7%	99.4%	65.7%	
	支出合計	580	700	592	161	700	
	うち食糧費, 交際費						
	次年度繰越	0	0	0	0	0	
市負担額	一般財源	460	460	460	160	460	
	特定財源						
	人件費	正職員	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
		人工金額	721	728	737	737	747
	その他事務費						
合計	1,181	1,188	1,197	897	1,207		
受益対象者数	338,558	335,323	332,610	329,822	330,000		
補助金単位コスト(単位:円)	3	4	4	3	4		
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令, 条例, 規則, 要綱等に基づいている ◆ 支出目的, 支出範囲が法令の規定に抵触しない ◆ 交付申請等が定めたとおりになっている					
	団体の運営, 会計処理等	◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的, 事業内容等と補助目的との整合性がとれている ◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し, 妥当である 会計処理については, 会計管理者のもとで行われており, また, 総会時において, 監査から会計監査報告を受けていることから適正に処理されている。					

※人件費(正職員分)は, 平成29年度7,205千円, 平成30年度7,282千円, 令和元年度7,369千円, 令和2年度7,366千円, 令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価
1 補助金 交付基準 との 適合性	(1)対象経費 ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担 ◆ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外	■ 合致する □ 合致しない
	(3)補助率の参考 基準 ◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◆ 上記以外	□ 合致する ■ 合致しない
	(4)見直し期間 (終期設定) ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上	□ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) ■ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程 (支出根拠) ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外	■ 合致する □ 合致しない
	(6)支出を証する 書類の添付 ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外	■ 合致する (※左欄2項目とも適合) □ 概ね合致する □ 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 特定の利益を目的とせず, ボランティアとして観光振興を担っていただいている団体への補助であることから公益性が高い。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 新型コロナウイルス感染症の影響により, 一時的に落ち込んだ観光需要は前年比8割程度まで持ち直した時期があったが, 通年で観光ボランティアが観光ホスピタリティの向上やイメージアップに努め, 観光需要の下支えを行ってきた影響は大きく, 本市の観光振興に効果的である。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 事業の必要性及び市の関与の度合いを勘案し, 補助率を設定している。必要性の高い事業であるが, 補助金を交付しなければ実施不可能であるため, 見直し期間は設定しない。	

4平成28年度行政評価への対応状況等
(行政評価)

補助金名称(当時)	観光ボランティア研修事業補助金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
継続	—
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(その他の見直し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果
-	

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	-
解決に向けた取組	-

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	観光客の誘致による経済活性化のためには, 継続的に観光ボランティアを育成する必要がある。
外部評価	—	—
2次評価	継続	—

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1補助金の概要

補助金名称	(一社)旭川観光コンベンション協会補助金										
補助金の性格	団体への補助(運営費・事業費)					始期	H25		終期	-	
予算事業名	旭川観光コンベンション協会補助金					(事業コード)	072117				
所管部署	観光スポーツ交流部			観光課			係	電話番号		8-5463	
交付先(団体,個人等)	(一社)旭川観光コンベンション協会										
交付目的	(対象)誰,何に対して	(一社)旭川観光コンベンション協会									
	(意図)どういう状態にしたい	体制及び財産基盤を強化し,行政と一体となって観光事業の健全な振興を図り旭川経済の活性化に結び付ける。									
対象事業等の内容	観光宣伝及び観光誘致事業,各種観光事業・イベントの推進など										
積算方法	補助対象経費の60/100以内(ただし,役員報酬・給与手当・福利厚生費は100/100以内)とし,毎年度予算の範囲内で支出額を決定している。										
事業量指標と過去5年間の実績	① プロモーション実施回数					② コンベンション誘致実績件数					
	単位:回	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
		19	15	4	19	5	616	624	641	556	54
成果指標と過去5年間の実績	① 観光入込客数					② 観光客宿泊延数					
	単位:人	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
		5,310,000	5,357,000	5,270,000	5,079,300	1,700,300	857,100	935,600	1,083,100	905,800	403,200

2収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越	10,159	11,326	12,783	17,302	17,539	
	市補助金	14,301	17,802	17,802	17,802	17,802	
	会費収入	13,855	14,235	13,920	13,350	13,350	
	事業収入	32,395	26,848	21,732	24,526	21,000	
	その他	524	43	21	0	0	
	収入合計	71,234	70,254	66,258	72,980	69,691	
	市補助率(%)	20.1%	25.3%	26.9%	24.4%	25.5%	
支出合計	59,908	57,471	48,956	55,441	51,000		
	うち食糧費,交際費						
	次年度繰越	11,326	12,783	17,302	17,539	18,691	
市負担額	一般財源	14,301	17,802	17,802	17,802	17,802	
	特定財源						
	人件費	正職員	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
		人工金額	721	728	737	737	747
		臨時・嘱託/会計年度任用職員					
	その他事務費						
	合計	15,022	18,530	18,539	18,539	18,549	
	受益対象者数	338,558	335,323	332,610	329,822	330,000	
	補助金単位コスト(単位:円)	44	55	56	56	56	
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない ◆ 交付申請等が定めたとおりになっている					
	団体の運営,会計処理等	◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている ◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である 会計処理については,会計管理者のもとで行われており,また,総会時において,監査から会計監査報告を受けていることから適正に処理されている。					

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価
1 補助金 交付基準 との適合性	(1)対象経費 ◇ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◆ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担 ◆ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外	■ 合致する □ 合致しない
	(3)補助率の参考基準 ◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◆ 上記以外	□ 合致する ■ 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定) ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上	□ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) ■ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠) ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外	■ 合致する □ 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付 ◇ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◆ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外	□ 合致する(※左欄2項目とも適合) ■ 概ね合致する □ 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 公共的な立場から観光振興を推進している団体への補助であり, 公益性が高い。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 新型コロナウイルス感染症の影響により, 観光入込客数は一時的に前年比9割以上の減となったが, 各種事業の実施により前年比8割程度まで持ち直した時期があり, 落ち込んだ観光需要の回復等に寄与した。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 事業の必要性及び関与の度合いを勘案し, 補助率を設定している。 本市の観光誘致に重要な役割を担う団体であり, 仮に補助金の見直しを行えば運営が不可能になることから, 見直し期間の設定はできない。	

4平成28年度行政評価への対応状況等(行政評価)

補助金名称(当時)	(一社)旭川観光コンベンション協会補助金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
継続	—
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
-	

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	-
解決に向けた取組	-

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	官民一体となった「オール旭川」体制で観光振興を図るため, 継続して実施する必要がある。
外部評価	継続	新たな観光資源を掘り起こし, 地域経済の活性化につながるよう, 官民一体となった取組を進めること。なお, 補助金額については, 繰越金を考慮し, 必要額とすること。
2次評価	継続	新たな観光資源を掘り起こし, 地域経済の活性化につながるよう支援を進めること。なお, 補助金額については, 繰越金や交付先の財政状況を踏まえ, 検討すること。

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1補助金の概要

補助金名称	コンベンション誘致推進事業補助金										
補助金の性格	団体への補助(運営費・事業費)					始期	H25		終期	-	
予算事業名	旭川観光コンベンション協会補助金					(事業コード)	072117				
所管部署	観光スポーツ交流部			観光課			係	電話番号		8-5465	
交付先(団体,個人等)	(一社)旭川観光コンベンション協会										
交付目的	(対象) 誰,何に対して		(一社)旭川観光コンベンション協会								
	(意図) どういう状態にしたい		コンベンション誘致を促進し,旭川市の観光・経済の振興を図る。								
対象事業等の内容	旭川観光コンベンション協会が行うコンベンション・フィルムコミッションの誘致促進に係る事業費の一部を補助する。										
積算方法	令和2年度まで 補助対象経費の60/100とし,毎年度予算の範囲内において定める。 令和3年度から コンベンションの主催団体等に開催支援補助金を交付する(100/100,予算の範囲内)										
事業量指標と過去5年間の実績	① コンベンション誘致実績件数					② フィルムコミッション実績件数					
	単位:件	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
		616	624	641	556	54	32	48	48	63	12
成果指標と過去5年間の実績	① 観光入込客数					② 観光客宿泊延数					
	単位:人	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
		5,310,000	5,357,000	5,270,000	5,079,300	1,700,300	857,100	935,600	1,083,100	905,800	403,200

2収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	市補助金	4,500	4,500	4,500	4,500	5,500	
	協会負担	5,439	5,552	4,709	5,341	3,500	
	収入合計	9,939	10,052	9,209	9,841	9,000	
	市補助率(%)	45.3%	44.8%	48.9%	45.7%	61.1%	
	支出合計	9,939	10,052	9,209	9,841	9,000	
	うち食糧費,交際費						
次年度繰越	0	0	0	0	0		
市負担額	一般財源	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	
	特定財源					1,000	
	人件費	正職員	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
		人工金額	721	728	737	737	747
	臨時・嘱託/会計年度任用職員						
その他事務費							
合計	5,221	5,228	5,237	5,237	6,247		
受益対象者数	338,558	335,323	332,610	329,822	330,000		
補助金単位コスト(単位:円)	15	16	16	16	19		
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない ◆ 交付申請等が定めたとおりになっている					
	団体の運営,会計処理等	◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている ◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である 会計処理については,会計管理者のもとで行われており,また,総会時において,監査から会計監査報告を受けていることから適正に処理されている。					

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費 ◇ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◆ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担 ◆ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外	■ 合致する □ 合致しない
	(3)補助率の参考基準 ◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◆ 上記以外	□ 合致する ■ 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定) ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上	□ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) ■ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠) ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外	■ 合致する □ 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付 ◇ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◆ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外	□ 合致する(※左欄2項目とも適合) ■ 概ね合致する □ 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 公共的な立場から観光振興を推進している団体への補助であり, 公益性が高い。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 新型コロナウイルス感染症の影響により, 観光入込客数は一時的に前年比9割以上の減となったが, 各種事業の実施により前年比8割程度まで持ち直した時期があり, 落ち込んだ観光需要の回復等に寄与した。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 事業の必要性及び関与の度合いを勘案し, 補助率を設定している。 本市の観光誘致に重要な役割を担う団体であり, 仮に補助金の見直しを行えば運営が不可能になることから, 見直し期間の設定はできない。	

4平成28年度行政評価への対応状況等(行政評価)

補助金名称(当時)	コンベンション誘致推進事業補助金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
継続	—
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
—	

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	—
解決に向けた取組	—

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	本市におけるコンベンション誘致活動に有効であり, 継続していく必要がある。
外部評価	—	—
2次評価	継続	—

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1 補助金の概要

補助金名称	コンベンション誘致活動運営補助金										
補助金の性格	団体への補助(運営費・事業費)					始期	H25		終期	-	
予算事業名	旭川観光コンベンション協会補助金					(事業コード)	072117				
所管部署	観光スポーツ交流部			観光課			係	電話番号		8-5463	
交付先(団体,個人等)	(一社)旭川観光コンベンション協会										
交付目的	(対象) 誰,何に対して	(一社)旭川観光コンベンション協会									
	(意図) どういう状態にしたい	コンベンション誘致を促進し,旭川市の観光・経済の振興を図る。									
対象事業等の内容	旭川観光コンベンション協会が行うコンベンション・フィルムコミッションの誘致促進に係る人件費を補助する。										
積算方法	補助対象経費以内とし,毎年度予算の範囲内で定めた額										
事業量指標と過去5年間の実績	① コンベンション誘致実績件数					② フィルムコミッション実績件数					
	単位:件	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
		616	624	641	556	54	32	48	48	63	12
成果指標と過去5年間の実績	① 観光入込客数					② 観光客宿泊延数					
	単位:人	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
		5,310,000	5,357,000	5,270,000	5,079,300	1,700,300	857,100	935,600	1,083,100	905,800	403,200

2 収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	市補助金	17,450	17,450	17,450	17,450	17,450	
	協会負担	609	817	75	516	80	
	収入合計	18,059	18,267	17,525	17,966	17,530	
	市補助率(%)	96.6%	95.5%	99.6%	97.1%	99.5%	
	支出合計	18,059	18,267	17,525	17,966	17,530	
	うち食糧費,交際費						
次年度繰越	0	0	0	0	0		
市負担額	一般財源	17,450	17,450	17,450	17,450	17,450	
	特定財源						
	人件費	正職員	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
		人工金額	721	728	737	737	747
	臨時・嘱託/会計年度任用職員						
その他事務費							
合計	18,171	18,178	18,187	18,187	18,197		
受益対象者数	338,558	335,323	332,610	329,822	330,000		
補助金単位コスト(単位:円)	54	54	55	55	55		
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない					
	団体の運営,会計処理等	◆ 交付申請等が定めたとおりになっている ◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている ◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である					
会計処理については,会計管理者のもとで行われており,また,総会時において,監査から会計監査報告を受けていることから適正に処理されている。							

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価
1 補助金 交付基準 との 適合性	(1)対象経費 ◇ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◆ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担 ◆ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外	■ 合致する □ 合致しない
	(3)補助率の参考 基準 ◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◆ 上記以外	□ 合致する ■ 合致しない
	(4)見直し期間 (終期設定) ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上	□ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) ■ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程 (支出根拠) ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外	■ 合致する □ 合致しない
	(6)支出を証する 書類の添付 ◇ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◆ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外	□ 合致する (※左欄2項目とも適合) ■ 概ね合致する □ 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 公共的な立場から観光振興を推進している団体への補助であり, 公益性が高い。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 新型コロナウイルス感染症の影響により, 観光入込客数は一時的に前年比9割以上の減となったが, 各種事業の実施により前年比8割程度まで持ち直した時期があり, 落ち込んだ観光需要の回復等に寄与した。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 事業の必要性及び関与の度合いを勘案し, 補助率を設定している。 本市の観光誘致に重要な役割を担う団体であり, 仮に補助金の見直しを行えば運営が不可能になることから, 見直し期間の設定はできない。	

4平成28年度行政評価への対応状況等
(行政評価)

補助金名称(当時)	コンベンション誘致活動運営補助金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
継続	—
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
—	

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	—
解決に向けた取組	—

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	本市におけるコンベンション誘致活動に有効であり, 継続していく必要がある。
外部評価	—	—
2次評価	継続	—

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1 補助金の概要

補助金名称	(一社)旭川観光コンベンション協会管理費補助金																			
補助金の性格	団体への補助(運営費・事業費)					始期	H25		終期	-										
予算事業名	旭川観光コンベンション協会補助金					(事業コード)	072117													
所管部署	観光スポーツ交流部			観光課			係	電話番号		8-5465										
交付先(団体,個人等)	(一社)旭川観光コンベンション協会																			
交付目的	(対象) 誰,何に対して	(一社)旭川観光コンベンション協会																		
	(意図) どういう状態にしたい	体制及び財産基盤を強化し,行政と一体となって観光事業の健全な振興を図り旭川経済の活性化に結び付ける。																		
対象事業等の内容	旭川の観光資源の開発や観光施設の設備改善等を目的として,旭川フードテラスに観光機能を集約するため,(一社)旭川観光コンベンション協会の執務室賃借料の一部を補助する。																			
積算方法	補助対象経費の2/3とし,毎年度予算の範囲内において定める。																			
事業量指標と過去5年間の実績	① プロモーション実施回数					② コンベンション誘致実績件数														
	単位:件					単位:件														
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02										
<table border="1"> <tr> <td>19</td> <td>15</td> <td>4</td> <td>19</td> <td>5</td> <td>616</td> <td>624</td> <td>641</td> <td>556</td> <td>54</td> </tr> </table>											19	15	4	19	5	616	624	641	556	54
19	15	4	19	5	616	624	641	556	54											
成果指標と過去5年間の実績	① 観光入込客数					② 観光客宿泊延数														
	単位:人					単位:人泊														
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02										
<table border="1"> <tr> <td>5,310,000</td> <td>5,357,000</td> <td>5,270,000</td> <td>5,079,300</td> <td>1,700,300</td> <td>857,100</td> <td>935,600</td> <td>1,083,100</td> <td>905,800</td> <td>403,200</td> </tr> </table>											5,310,000	5,357,000	5,270,000	5,079,300	1,700,300	857,100	935,600	1,083,100	905,800	403,200
5,310,000	5,357,000	5,270,000	5,079,300	1,700,300	857,100	935,600	1,083,100	905,800	403,200											

2 収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	市補助金	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	
	協会負担	876	876	898	921	921	
	収入合計	2,476	2,476	2,498	2,521	2,521	
	市補助率(%)	64.6%	64.6%	64.1%	63.5%	63.5%	
	支出合計	2,476	2,476	2,498	2,521	2,521	
	うち食糧費,交際費						
次年度繰越	0	0	0	0	0		
市負担額	一般財源	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	
	特定財源						
	人件費	正職員	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
		人工金額	721	728	737	737	747
	その他事務費						
合計	2,321	2,328	2,337	2,337	2,347		
受益対象者数	338,558	335,323	332,610	329,822	330,000		
補助金単位コスト(単位:円)	7	7	7	7	7		
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない ◆ 交付申請等が定めたとおりになっている					
	団体の運営,会計処理等	◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている ◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である 会計処理については,会計管理者のもとで行われており,また,総会時において,監査から会計監査報告を受けていることから適正に処理されている。					

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価	
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費	◇ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◆ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	■ 合致する
		◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担	◆ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	■ 合致する
		◇ 上記以外	□ 合致しない
	(3)補助率の参考基準	◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	□ 合致する
		◆ 上記以外	■ 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定)	◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上	□ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) ■ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
		(5)交付規程(支出根拠)	◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外
	(6)支出を証する書類の添付	◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	■ 合致する(※左欄2項目とも適合)
		◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外	□ 概ね合致する □ 合致しない
	2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 公共的な立場から観光振興を推進している団体への補助であり, 公益性が高い。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない
	3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 新型コロナウイルス感染症の影響により, 観光入込客数は一時的に前年比9割以上の減となったが, 各種事業の実施により前年比8割程度まで持ち直した時期があり, 落ち込んだ観光需要の回復等に寄与した。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない	
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 事業の必要性及び関与の度合いを勘案し, 補助率を設定している。 本市の観光誘致に重要な役割を担う団体であり, 仮に補助金の見直しを行えば運営が不可能になることから, 見直し期間の設定はできない。		

4平成28年度行政評価への対応状況等
(行政評価)

補助金名称(当時)	(一社)旭川観光コンベンション協会管理費補助金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
継続	—
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
-	

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	-
解決に向けた取組	-

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	官民一体となった「オール旭川」体制で観光振興を図るため, 継続して実施する必要がある。
外部評価	—	—
2次評価	継続	—

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1 補助金の概要

補助金名称	観光チケット販売促進補助金										
補助金の性格	団体への補助(運営費・事業費)					始期	R2		終期	R2	
予算事業名	旭川観光コンベンション協会補助金					(事業コード)	072117				
所管部署	観光スポーツ交流部			観光課			係	電話番号		8-5465	
交付先(団体,個人等)	(一社)旭川観光コンベンション協会										
交付目的	(対象) 誰,何に対して		(一社)旭川観光コンベンション協会								
	(意図) どういう状態にしたい		緊急事態宣言等の発令により,著しく落ち込んだ観光需要の早期回復を図る。								
対象事業等の内容	(一社)旭川観光コンベンション協会が発行しているよくばりチケットを割引価格で販売する,販売促進に係る事業										
積算方法	・割引額 1,300円×8,000枚=10,400,000円 ・印刷費,広告費等 1,600,000円 ・合計 12,000,000円										
事業量指標と過去5年間の実績	① 販売枚数					②					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
成果指標と過去5年間の実績	① 観光入込客数					② 観光客宿泊延数					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
					6,049						
					1,700,300	403,200					

2 収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
補助対象事業等の収支状況	収入内訳	市補助金			9,254	
		協会負担			327	
	収入合計				9,581	
	市補助率(%)				96.6%	
	支出合計				9,581	
	うち食糧費,交際費					
	次年度繰越				0	
市負担額	一般財源				0	
	特定財源				9,254	
	人件費	正職員			0.1	
		人工金額			737	
	その他事務費					
合計					9,991	
受益対象者数					329,822	
補助金単位コスト(単位:円)					30	
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない ◆ 交付申請等が定めたとおりになっている				
	団体の運営,会計処理等	◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている ◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である 会計処理については,会計管理者のもとで行われており,また,総会時において,監査から会計監査報告を受けていることから適正に処理されている。				

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価	
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◆ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> □ 合致する ■ 合致しない
	(3)補助率の参考基準	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◆ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> □ 合致する ■ 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◇ 終期末設定で, 補助継続4年以上 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) □ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する(※左欄2項目とも適合) □ 概ね合致する □ 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 公共的な立場から観光振興を推進している団体への補助であるとともに, 市内観光地や宿泊施設への誘客促進を図り, 旭川全体の経済効果に寄与したことから公益性が高い。	(左の内容を踏まえての評価) <ul style="list-style-type: none"> ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない 	
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 当該事業を実施できる唯一の事業者であり, 早期に観光需要を回復させる取組みが必要であった。	(左の内容を踏まえての評価) <ul style="list-style-type: none"> ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない 	
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 観光チケットの販売により, 約6千人の観光客に対して観光施設の利用を促すことができ, 観光振興及び地域経済の活性化に寄与した。	(左の内容を踏まえての評価) <ul style="list-style-type: none"> ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない 	
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 事業の必要性及び経済波及効果等の公益性を勘案し, 補助率を設定した。また, 全額, 国の臨時交付金の対象経費として実施したものであるため。		

4平成28年度行政評価への対応状況等
(行政評価)

補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
--------	-----------

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	-
解決に向けた取組	-

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	終了	
外部評価	—	—
2次評価	終了	新型コロナウイルス感染症対策として実施した事業であり, 終了する。

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1補助金の概要

補助金名称	氷彫刻世界大会開催補助金										
補助金の性格	団体への補助(運営費・事業費)					始期	H5		終期	-	
予算事業名	冬季観光滞在促進費					(事業コード)	072119				
所管部署	観光スポーツ交流部			観光課			係	電話番号		8-5465	
交付先(団体,個人等)	氷彫刻世界大会実行委員会										
交付目的	(対象) 誰,何に対して		氷彫刻世界大会実行委員会								
	(意図) どういう状態にしたい		旭川冬まつりとの同時開催により,他地域と差別化された冬季観光イベントとして観光客を誘致する。								
対象事業等の内容	氷彫刻世界大会の開催										
積算方法	補助対象経費の1/2以内とし,毎年度予算の範囲内において定める。										
事業量指標と過去5年間の実績	① 氷彫刻数					②					単位:
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	単位:
	48	48	49	44	-						
成果指標と過去5年間の実績	① 観客動員数					②					単位:
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	単位:
	968,000	976,000	983,000	705,000	-						

2収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越						
	市負担金	5,600	5,600	5,600	100	5,600	
	参加料	3,318	3,831	3,393	0	3,500	
	自己負担金	10,494	10,403	9,954	100	10,000	
	協賛金	1,332	1,252	1,305	0	1,300	
	その他	500	500	500	0	500	
	収入合計	21,244	21,586	20,752	200	20,900	
	市補助率(%)	26.4%	25.9%	27.0%	50.0%	26.8%	
	支出合計	21,244	21,586	20,752	200	20,900	
	うち食糧費,交際費						
次年度繰越							
市負担額	一般財源	5,600	5,600	5,600	100	5,600	
	特定財源						
	人件費	正職員	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
		人工金額	1,441	1,456	1,474	1,473	1,493
	臨時・嘱託/会計年度任用職員						
その他事務費							
合計	7,041	7,056	7,074	1,573	7,093		
受益対象者数	976,000	983,000	705,000	-	705,000		
補助金単位コスト(単位:円)	7	7	10		10		
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない ◆ 交付申請等が定めたとおりになっている					
	団体の運営,会計処理等	◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている ◇ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である 会計処理については,会計管理者のもとで行われており,また,総会時において,監査から会計監査報告を受けていることから適正に処理されている。					

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価	
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◆ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 合致しない
	(3)補助率の参考基準	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上 	<ul style="list-style-type: none"> □ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) ■ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する(※左欄2項目とも適合) □ 概ね合致する □ 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 観光客や市民が氷彫刻世界大会の会場に來場することで, 宿泊・飲食業をはじめ市内の様々な産業に経済効果が及ぶことから, 不特定多数の市民に直接・間接的に効果が行きわたっている。(令和2年度は大会の開催を中止)	(左の内容を踏まえての評価) ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない	
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 市民に冬季の賑わいを提供するとともに, 冬季観光客の誘致に大きな影響力があるため。また, 同規模・同内容のイベントを実施できる市内唯一の団体であるため。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない	
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 令和2年度は大会中止となったが, 例年, 大会開催期間中はホテルの稼働率も9割を超えるなど, 前後の月に比べて宿泊者数が増加する。宿泊を伴う観光は経済波及効果も大きいことから, 事業の費用対効果が大きい。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない	
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 必要性の高い事業であるが, 補助金を交付しなければ実施不可能であるため, 見直し期間は設定しない。		

4平成28年度行政評価への対応状況等

(行政評価)

補助金名称(当時)	氷彫刻世界大会開催補助金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
見直し	協賛金の確保などにより, 自立した事業運営を目指すこと。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
-	協賛金等の収入の確保を促しているが, 自立化には時間を要する。また, 当団体は本市の冬期観光誘致に重要な役割を担っており, 補助金を交付しなければ実施不可能であるため, 現時点で見直しに至っていない。

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
-	

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	-
解決に向けた取組	-

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	本市の冬季における観光客誘致に重要なイベントであり, 現状では自立した事業運営には至らないため, 継続していく必要がある。
外部評価	-	-
2次評価	継続	事業の自立化を目指し, 引き続き事業収入の増加等に取り組むこと。

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1 補助金の概要

補助金名称	氷彫刻推進補助金										
補助金の性格	団体への補助(運営費・事業費)					始期	H5		終期	—	
予算事業名	冬季観光滞在促進費					(事業コード)	072119				
所管部署	観光スポーツ交流部			観光課			係	電話番号		8-5465	
交付先(団体,個人等)	特定非営利活動法人日本氷彫刻会										
交付目的	(対象) 誰,何に対して		特定非営利活動法人日本氷彫刻会								
	(意図) どういう状態にしたい		氷彫刻技術向上と氷彫刻文化の向上を通じ,氷彫刻のメッカとして旭川をPRし,旭川冬まつりの内容充実及び観光客増加に結びつける。								
対象事業等の内容	氷彫刻世界大会の開催,氷彫刻を通じた国際交流,技能認定事業,会報の発行										
積算方法	補助対象経費の1/2以内とし,毎年度予算の範囲内において定める。										
事業量指標と過去5年間の実績	① 氷彫刻数					②					単位:
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	単位:
	48	48	49	44	-						
成果指標と過去5年間の実績	① 観客動員数					②					単位:
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	単位:
	968,000	976,000	983,000	705,000	-						

2 収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越	23	622	179	153	400	
	市補助金	620	620	620	620	620	
	会費	3,736	3,888	5,326	4,110	4,570	
	参加賞	1,698	1,667	1,664	0	0	
	技能認定料	266	730	485	418	200	
	その他	2,462	1,471	339	246	25	
	収入合計	8,805	8,998	8,613	5,547	5,815	
	市補助率(%)	7.0%	6.9%	7.2%	11.2%	10.7%	
	支出合計	8,183	8,819	8,460	5,147	5,815	
	うち食糧費,交際費						
次年度繰越	622	179	153	400	0		
市負担額	一般財源	620	620	620	620	620	
	特定財源						
	人件費	正職員	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
		人工金額	721	728	737	737	747
	臨時・嘱託/会計年度任用職員						
その他事務費							
合計	1,341	1,348	1,357	1,357	1,367		
受益対象者数	976,000	983,000	705,000	-	705,000		
補助金単位コスト(単位:円)	1	1	2		2		
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない					
	団体の運営,会計処理等	◆ 交付申請等が定めたとおりになっている ◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている					
		◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である 会計処理については,会計管理者のもとで行われており,また,総会時において,監査から会計監査報告を受けていることから適正に処理されている。					

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価	
1 補助金 交付基準 との 適合性	(1)対象経費	◇ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◆ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	■ 合致する
		◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担	◆ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	■ 合致する
		◇ 上記以外	□ 合致しない
	(3)補助率の参考基準	◆ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	■ 合致する
		◇ 上記以外	□ 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定)	◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上	□ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) ■ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
		(5)交付規程(支出根拠)	◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外
	(6)支出を証する書類の添付	◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◇ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◆ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外	□ 合致する(※左欄2項目とも適合) ■ 概ね合致する □ 合致しない
		2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 氷彫刻を推進する国内唯一の団体であり, 氷彫刻世界大会の開催などは本市の観光振興に資するイベントとして定着していることから, 団体への支援は公益性が高い。
	3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 夏季と冬季の氷彫刻世界大会の開催に携わる市内唯一の団体であり, 氷彫刻世界大会の開催は市民に冬季の賑わいを提供するとともに, 冬季観光客の誘致に大きな影響力があるため。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない
	4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 令和2年度は大会が中止となったが, 例年, 氷彫刻世界大会の開催期間中はホテルの稼働率も9割を超えるなど, 前後の月に比べて宿泊者数が増加する。宿泊を伴う観光は経済波及効果も大きいことから, 事業の費用対効果が大きい。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 必要性の高い事業であるが, 補助金を交付しなければ実施不可能であるため, 見直し期間は設定しない。		

4平成28年度行政評価への対応状況等(行政評価)

補助金名称(当時)	氷彫刻推進事業補助金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
見直し	団体の自立化に向け, 補助の終期を設定するなどの見直しを行うこと。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
-	会費等の収入の確保を促しているが, 自立化には時間を要する。また, 当団体は本市の冬期観光誘致に重要な役割を担っており, 補助金を交付しなければ運営も難しいため, 現時点で見直しに至っていない。

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
-	

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	-
解決に向けた取組	-

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	本市の冬季における観光客誘致に重要なイベントであり, 現状では自立した運営には至らないため, 継続していく必要がある。
外部評価	-	-
2次評価	継続	団体の自立化を目指すこと。

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1補助金の概要

補助金名称	中心市街地Wi-Fi環境整備事業補助金										
補助金の性格	団体への事業費補助					始期	H26		終期	-	
予算事業名	観光受入体制充実費					(事業コード)	072123				
所管部署	観光スポーツ交流部			観光課			係	電話番号		8-5467	
交付先(団体,個人等)	旭川平和通商店街振興組合										
交付目的	(対象) 誰,何に対して	旭川平和通商店街振興組合									
	(意図) どういう状態にしたい	中心市街地でのおもてなし体制の充実を図り,観光客の増加や中心市街地の活性化を図る。									
対象事業等の内容	Wi-Fi環境を中心市街地に整備する当該団体に対して,経費の一部を負担する。										
積算方法	補助対象経費内とし,毎年度予算の範囲内において定める。										
事業量指標と過去5年間の実績	① Wi-Fiアクセス数					②					単位:
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	単位:
	19,003	29,244	27,041	44,535	集計中						
成果指標と過去5年間の実績	① 観光入込客数					②					単位:
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	単位:
	5,310,000	5,357,000	5,270,000	5,079,300	1,700,300						

2収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越						
	市補助金	620	700	500	500	500	
	自己資金	100	121	134	84	82	
	繰越金						
	その他						
	収入合計	720	821	634	584	582	
	市補助率(%)	86.1%	85.3%	78.9%	85.6%	85.9%	
支出状況	支出合計	720	821	634	502	582	
	うち食糧費,交際費						
市負担額	次年度繰越						
	一般財源	620	700	500	500	500	
	特定財源						
	人件費	正職員	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
		人工金額	721	728	737	737	747
	臨時・嘱託/会計年度任用職員						
その他事務費							
合計	1,341	1,428	1,237	1,237	1,247		
受益対象者数	5,357,000	5,270,500	5,079,300	1,700,300	6,000,000		
補助金単位コスト(単位:円)	0	0	0	0	0		
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない					
	団体の運営,会計処理等	◆ 交付申請等が定めたとおりになっている ◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている					
		◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である 会計処理については,会計管理者のもとで行われており,また,総会時において,監査から会計監査報告を受けていることから適正に処理されている。					

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価	
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 合致しない
	(3)補助率の参考基準	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◆ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> □ 合致する ■ 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上 	<ul style="list-style-type: none"> □ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) ■ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する(※左欄2項目とも適合) □ 概ね合致する □ 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 不特定多数の市民又は観光客に効果が行きわたっている	(左の内容を踏まえての評価) ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない	
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない	
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 具体的に記入する) 年度により差はあるが, 5年前に比べてアクセス数は2倍以上となっており, 補助金の効果が現れている。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない	
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 事業の必要性及び関与の度合いを勘案し, 補助率を設定している。 必要性の高い事業であるが, 補助金を交付しなければ実施不可能であるため, 見直し期間の設定はできない。		

4平成28年度行政評価への対応状況等
(行政評価)

補助金名称(当時)	中心市街地Wi-Fi環境整備事業補助金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
見直し	市の負担割合について見直すこと。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
令和元年度	前年度までの補助金額から20万円減額して交付決定した。

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
-	

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	-
解決に向けた取組	-

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	本市の観光振興のため必要性の高い事業であり, 補助金を交付しなければ実施不可能であるため
外部評価	—	—
2次評価	見直し	市の負担割合について見直しを検討すること。

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1 補助金の概要

補助金名称	旭川路線バス観光利用促進事業補助金										
補助金の性格	団体への事業費補助					始期	H28		終期	-	
予算事業名	観光受入体制充実費					(事業コード)	072123				
所管部署	観光スポーツ交流部			観光課			係	電話番号		8-5467	
交付先(団体,個人等)	旭川路線バス観光利用促進協議会										
交付目的	(対象) 誰,何に対して	旭川路線バス観光利用促進協議会									
	(意図) どういう状態にしたい	利便性の向上及び観光客の市内周遊促進を図る。									
対象事業等の内容	バス事業者共通の乗り放題乗車券を発行(1日券,2日券)するとともに,観光スポット入り路線マップを作成し,市内バスの乗換えを促進する。										
積算方法	補助対象経費の50/100以内とし,毎年度予算の範囲内において定める。										
事業量指標と過去5年間の実績	① 乗車券作成枚数					② マップ作成枚数					単位:枚
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	単位:枚
	6,000	8,000	0	0	1,000	20,000	30,000	0	10,000	10,000	
成果指標と過去5年間の実績	① 乗車券販売枚数					② 観光客宿泊延数					単位:泊
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	単位:泊
	380	938	909	1,052	391	857,100	935,600	1,083,100	905,800	403,200	

2 収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越			240	269	0	
	市補助金	600	60	193	174	500	
	自己資金	239	0	30	0	0	
	事業収入	1,222	1,190	1,373	526	1,000	
	その他	230					
	収入合計	2,291	1,250	1,836	969	1,500	
	市補助率(%)	26.2%	4.8%	10.5%	18.0%	33.3%	
	支出合計	2,291	1,251	1,566	969	1,000	
	うち食糧費,交際費						
	次年度繰越		240	269	0	0	
市負担額	一般財源	600	60	192	174	500	
	特定財源						
	人件費	正職員	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
		人工金額	721	728	737	737	747
	臨時・嘱託/会計年度任用職員						
その他事務費							
合計	1,321	788	929	911	1,247		
受益対象者数	338,558	335,323	332,610	329,822	330,000		
補助金単位コスト(単位:円)	4	2	3	3	4		
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない					
	団体の運営,会計処理等	◆ 交付申請等が定めたとおりになっている ◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている					
		◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である					
会計処理については,会計管理者のもとで行われており,また,総会時において,監査から会計監査報告を受けていることから適正に処理されている。							

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価	
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 概ね合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(2)受益者負担	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(3)補助率の参考基準	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◇ 上記以外 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上 	<input type="checkbox"/> 有(4年未満) <input type="checkbox"/> 有(4年以上) <input type="checkbox"/> 継続4年未満 <input type="checkbox"/> 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) <input checked="" type="checkbox"/> 同一団体補助だが, 見直し設定していない <input type="checkbox"/> 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する(※左欄2項目とも適合) <input type="checkbox"/> 概ね合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 路線バスという公共性の高い事業を観光利用することから, 公益性が高い。	(左の内容を踏まえての評価) <input checked="" type="checkbox"/> 公益性が高い <input type="checkbox"/> 公益性が高いとは言えない	
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない。	(左の内容を踏まえての評価) <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性が高いとは言えない	
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 旭川市への観光誘致においては二次交通の確保に課題がある中で, 同団体へ補助金を支出し共通乗り放題乗車券を発行することで, コロナ禍の令和2年度においても延べ約2千人が乗車券を活用しており, 課題解決の一助として有効である。	(左の内容を踏まえての評価) <input checked="" type="checkbox"/> 効果が高い <input type="checkbox"/> 効果が高いとは言えない	
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 見直し期間等については今後の観光客の動静を見ながら検討していくべきものであることから特に設定していない。		

4平成28年度行政評価への対応状況等
(行政評価)

補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
継続	-
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
-	

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	-
解決に向けた取組	-

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	二次交通を確保し観光客の利便性向上を図るために必要な事業であるため。
外部評価	—	—
2次評価	継続	—

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1 補助金の概要

補助金名称	観光ガイドマップ作製事業補助金										
補助金の性格	団体への補助(運営費・事業費)					始期	H25		終期	-	
予算事業名	観光情報発信費					(事業コード)	072124				
所管部署	観光スポーツ交流部			観光課			係	電話番号		8-5467	
交付先(団体,個人等)	(一社)旭川観光コンベンション協会										
交付目的	(対象) 誰,何に対して	(一社)旭川観光コンベンション協会									
	(意図) どういう状態にしたい	滞在型観光及び通年型観光の推進を図り,地域経済への波及効果をもたらす。									
対象事業等の内容	旭川を訪れる観光客への観光情報の紹介を行う旭川観光ガイドマップを作製する経費の一部を補助する。										
積算方法	補助対象経費の90/100以内とし,毎年度予算の範囲内で定めた額										
事業量指標と過去5年間の実績	① 観光ガイドマップ作製部数					②					単位:
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	単位:
	291,500	340,000	329,500	331,500	204,100						
成果指標と過去5年間の実績	① 観光入込客数					② 観光客宿泊延数					単位:
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	単位:泊
	5,310,000	5,357,000	5,270,000	5,079,300	1,700,300	857,100	935,600	1,083,100	905,800	403,200	

2 収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越						
	市補助金	3,800	3,000	3,000	2,049	3,000	
	自己資金	423	335	336	228	334	
	事業収入						
	その他						
	収入合計	4,223	3,335	3,336	2,277	3,334	
	市補助率(%)	90.0%	90.0%	89.9%	90.0%	90.0%	
支出状況	支出合計	4,223	3,335	3,336	2,277	3,334	
	うち食糧費,交際費						
市負担額	次年度繰越						
	一般財源	3,800	3,000	3,000	2,049	1,500	
	特定財源					1,500	
	人件費	正職員	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
		人工金額	721	728	737	737	747
	臨時・嘱託/会計年度任用職員						
その他事務費							
合計	4,521	3,728	3,737	2,786	3,747		
受益対象者数	338,558	335,323	332,610	329,822	330,000		
補助金単位コスト(単位:円)	13	11	11	8	11		
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない ◆ 交付申請等が定めたとおりになっている					
	団体の運営,会計処理等	◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている ◇ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である 会計処理については,会計管理者のもとで行われており,また,総会時において,監査から会計監査報告を受けていることから適正に処理されている。					

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価	
1 補助金 交付基準 との 適合性	(1)対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 合致しない
	(3)補助率の参考基準	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◆ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> □ 合致する ■ 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上 	<ul style="list-style-type: none"> □ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) ■ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する(※左欄2項目とも適合) □ 概ね合致する □ 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 公共的な立場から観光振興に資する観光ガイドマップの作製を行うものであり, 公益性が高い。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない	
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない	
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 新型コロナウイルス感染症の影響により, 観光入込客数は一時的に前年比9割以上の減となったが, 各種事業の実施により前年比8割程度まで持ち直した時期があり, 落ち込んだ観光需要の回復等に寄与した。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない	
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 事業の必要性及び関与の度合いを勘案し, 補助率を設定している。 旭川観光ガイドマップは民間との調整もしやすい本団体が作製することが効率的であり, 仮に補助を見直した場合, 本市で作製することとなりかえって不経済になるため, 見直し期間は特に設定しない。		

4平成28年度行政評価への対応状況等
(行政評価)

補助金名称(当時)	観光ガイドマップ作製事業費補助金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
継続	—
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
—	

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	—
解決に向けた取組	—

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	本市の観光振興を図るために観光ガイドマップは重要なツールであり, ガイドマップ作製等のために必要な事業であるため。
外部評価	—	—
2次評価	継続	—

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1 補助金の概要

補助金名称	ホテル・旅館業事業者緊急支援金										
補助金の性格	団体への事業費補助					始期	R2		終期	R2	
予算事業名	ホテル・旅館業事業者緊急支援金					(事業コード)	072126				
所管部署	観光スポーツ交流部			観光課			係	電話番号		8-5462	
交付先(団体,個人等)	市内旅館・ホテル営業事業者										
交付目的	(対象) 誰,何に対して	新型コロナウイルスの感染拡大,また,それに対応する国の緊急事態宣言及び北海道の休業要請の影響に伴い,著しく需要が落ち込んだ宿泊施設を営む事業者									
	(意図) どういう状態にしたい	滞在観光の受け皿が維持された状態									
対象事業等の内容	次のいずれかの要件に該当する事業者に対し,滞在観光の受け皿の維持を図るため,支援金を支給。 (1)申請日までに1年以上継続して現に事業を行っている交付対象者であり,令和2年3月,4月の各月売上額が前年同月と比較して50%以上減少していること。 (2)前号にかかわらず,令和2年3月,4月の各月売上額が前年同月と比較して減少し,かつ,令和2年5月1日から10日までの売上額が前年同日と比較して50%以上減少していること。 (3)申請日までの事業継続が1年未満の交付対象者又は売上額の前年比較が困難な交付対象者は,令和2年3月,4月の各月売上額が,令和元年12月,令和2年1月及び2月の3月間の平均売上額と比較して50%以上減少していること。										
積算方法	30万円を基本額とし,客室数が10室を超える場合は1室につき1万円を加算する。 一事業者における上記の基本額と加算額の合計が200万円を超える場合は,同額を上限額とする。										
事業量指標と過去5年間の実績	① 市内旅館・ホテル営業事業者支援件数					②					単位:
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
成果指標と過去5年間の実績	① 市内旅館・ホテル営業事業者支援額					②					単位:
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	

2 収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越				0		
	市補助金				42,740		
	協議会負担				0		
	その他				0		
	収入合計				42,740		
	市補助率(%)				100.0%		
	支出合計				0		
うち食糧費,交際費				0			
次年度繰越				0			
市負担額	一般財源				0		
	特定財源				42,740		
	人件費	正職員				0.1	
		人工金額				737	
	臨時・嘱託/会計年度任用職員				0		
	その他事務費				0		
合計				43,477			
受益対象者数				42			
補助金単位コスト(単位:円)				1,035,167			
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない ◆ 交付申請等が定めたとおりになっている					
	団体の運営,会計処理等	◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている ◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である					

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価	
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◆ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> □ 合致する ■ 合致しない
	(3)補助率の参考基準	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◆ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> □ 合致する ■ 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◇ 終期末設定で, 補助継続4年以上 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) □ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する(※左欄2項目とも適合) □ 概ね合致する □ 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内旅館・ホテル営業事業者を支援することで, 本市経済の回復につなげようとするものであることから, 公益性が高い。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない	
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 滞在観光の受け皿の維持を図るための支援が求められており, 必要性が高かった,	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない	
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 新型コロナウイルス感染症等による影響を受けた42件の市内旅館・ホテル営業事業者を支援することで, 経済活動回復の下支えに寄与した。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない	
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 1(1), (2), (3) 新型コロナウイルス感染症対策として緊急に市内旅館・ホテル営業事業者を支援するため, また, 全額, 国の臨時交付金の対象経費として実施したものであるため。		

4平成28年度行政評価への対応状況等(行政評価)

補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
--------	-----------

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	
解決に向けた取組	

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	終了	
外部評価	—	—
2次評価	終了	新型コロナウイルス感染症対策として実施した事業であり, 終了する。

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1補助金の概要

補助金名称	旭川市教育旅行等推進助成金										
補助金の性格	個人への事業費補助					始期	R2		終期	R2	
予算事業名	教育旅行等誘致事業費					(事業コード)	072139				
所管部署	観光スポーツ交流部			観光課			係	電話番号		8-5467	
交付先(団体,個人等)	旅行業法(昭和27年法律第239号)第3条の許可を受けた旅行業又は旅行業者代理業を営む事業者で市内に本店を有するもの										
交付目的	(対象) 誰,何に対して	旅行業法(昭和27年法律第239号)第3条の許可を受けた旅行業又は旅行業者代理業を営む事業者で市内に本店を有するもの									
	(意図) どういう状態にしたい	市内での安全で安心な旅行の実施を推進することを目的とし,市内を行程に含み,旅行商品の開発と催行を支援し,新型コロナウイルス感染症の影響を大幅に受けている市内旅行事業の活性化を図る									
対象事業等の内容	次の要件を1つ以上含む旅行商品を対象とし,造成・催行を行った対象者に助成金を交付する。 (1)新型コロナウイルス感染防止対策を施し,市内各種施設等の見学や利用,又は体験等を伴う旅行 (2)新型コロナウイルス感染防止対策を施し,市内宿泊施設での宿泊を伴う旅行										
積算方法	・要件(1)及び(2)のいずれかを満たす場合 50,000円 ・要件(1)及び(2)の全てを満たす 100,000円 上記に加え,参加者数11人以上の場合,1人あたり2,000円を加算する ※一事業者に対し20万円を限度額とする										
事業量指標と過去5年間の実績	① 助成対象事業者数					②					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
成果指標と過去5年間の実績	① 交付実績					②					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	

2収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	収入内訳	前年度繰越					
		市補助金				662	
		協議会負担					
		その他					
	収入合計					662	
	市補助率(%)					100.0%	
	支出合計					662	
うち食糧費,交際費							
次年度繰越					0		
市負担額	一般財源					0	
	特定財源					662	
	人件費	正職員				0.1	
		人工金額				737	
	臨時・嘱託/会計年度任用職員						
その他事務費							
合計					1,399		
受益対象者数					4		
補助金単位コスト(単位:円)					349,750		
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない ◆ 交付申請等が定めたとおりになっている					
	団体の運営,会計処理等	◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている ◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である 会計処理については,会計管理者のもとで行われており,また,総会時において,監査から会計監査報告を受けていることから適正に処理されている。					

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費 ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担 ◇ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◆ 上記以外	□ 合致する ■ 合致しない
	(3)補助率の参考基準 ◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◆ 上記以外	□ 合致する ■ 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定) ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◇ 終期末設定で, 補助継続4年以上	■ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) □ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠) ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外	■ 合致する □ 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付 ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外	■ 合致する(※左欄2項目とも適合) □ 概ね合致する □ 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内旅行事業者を支援することで, 本市経済の回復につなげようとするものであることから, 公益性が高い。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内旅行事業者の支援が求められており, 必要性が高かった。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 市内旅行事業者に対し, 市内を行程に含む旅行商品造成・催行の支援を行い, 335人の誘客につなげるとともに市内旅行事業者への支援を行うことで, 観光客の誘致と地域経済の活性化に寄与した。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 1(2), (3) 新型コロナウイルス感染症の影響を大幅に受けている市内旅行事業者を支援するため, また, 全額, 国の臨時交付金の対象経費として実施したものであるため。	

4平成28年度行政評価への対応状況等(行政評価)

補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
--------	-----------

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	
解決に向けた取組	

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	終了	
外部評価	—	—
2次評価	終了	新型コロナウイルス感染症対策として実施した事業であり, 終了する。

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1 補助金の概要

補助金名称	宿泊施設感染症対策強化支援金										
補助金の性格	団体への事業費補助					始期	R2		終期	R2	
予算事業名	宿泊施設感染症対策強化支援金					(事業コード)	072143				
所管部署	観光スポーツ交流部			観光課			係	電話番号		8-5464	
交付先(団体,個人等)	市内ホテル・旅館										
交付目的	(対象) 誰,何に対して		市内ホテル・旅館								
	(意図) どういう状態にしたい		市内ホテル・旅館が感染症対策の更なる強化を図ることで,安全な宿泊環境の充実を図るもの。								
対象事業等の内容	市内のホテル・旅館事業者に対し支援金を給付する。										
積算方法	基本額:10万円×26施設,30万円×13施設,50万円×17施設 加算額:50万円×10施設										
事業量指標と過去5年間の実績	① 補助金交付宿泊施設					②					単位:
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	単位:
					48						
成果指標と過去5年間の実績	① 観光客宿泊延数					②					単位:
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	単位:
					403,200						

2 収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越						
	市補助金				19,100		
	協議会負担						
	その他						
	収入合計				19,100		
	市補助率(%)				100.0%		
	支出合計				19,100		
	うち食糧費,交際費				0		
	次年度繰越				0		
市負担額	一般財源				0		
	特定財源				19,100		
	人件費	正職員				0.1	
		人工金額				737	
		臨時・嘱託/会計年度任用職員				0	
	その他事務費				0		
合計				19,837			
受益対象者数					48		
補助金単位コスト(単位:円)					413,271		
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない ◆ 交付申請等が定めたとおりになっている					
	団体の運営,会計処理等	◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている ◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である 会計処理については,会計管理者のもとで行われており,また,総会時において,監査から会計監査報告を受けていることから適正に処理されている。					

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価	
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◆ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> □ 合致する ■ 合致しない
	(3)補助率の参考基準	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◆ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> □ 合致する ■ 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◇ 終期末設定で, 補助継続4年以上 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) □ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する(※左欄2項目とも適合) □ 概ね合致する □ 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 市内宿泊施設の感染症対策を支援することで, 安全な宿泊環境の充実と本市経済の回復につなげようとするものであることから, 公益性が高い。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない	
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 宿泊に伴う安全の確保と観光需要回復のために, 市内宿泊施設の支援が求められており, 必要性が高かった。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない	
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 新型コロナウイルス感染症の影響により, 観光入込客数は一時的に前年比9割以上の減となったが, 各種事業の実施により前年比8割程度まで持ち直した時期があり, 市内宿泊施設を支援することで, 宿泊客数の促進及び地域経済の活性化に寄与した。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない	
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 1(2), (3) 新型コロナウイルス感染症に対する安全な宿泊環境の充実とそれに伴う宿泊事業者を支援するため, 全額, 国の臨時交付金の対象経費として実施したものであるため。		

4平成28年度行政評価への対応状況等(行政評価)

補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(その他の見直し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	
解決に向けた取組	

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	終了	
外部評価	—	—
2次評価	終了	新型コロナウイルス感染症対策として実施した事業であり, 終了する。

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1補助金の概要

補助金名称	スタルヒン杯争奪全道スポーツ少年団軟式野球交流大会負担金										
補助金の性格	団体への事業費補助					始期	H18		終期	-	
予算事業名	体育振興費					(事業コード)	05-31-10-01				
所管部署	観光スポーツ交流部			スポーツ課			係	電話番号	内線6333		
交付先(団体,個人等)	公益財団法人 旭川市スポーツ協会										
交付目的	(対象) 誰,何に対して	大会主催者及び参加者									
	(意図) どういう状態にしたい	大会経費の一部を負担することにより,大会の円滑な運営を目指す。									
対象事業等の内容	少年野球を通じて,北海道内のスポーツ少年団の交流及び組織活動の拡大を図ることを目的として開催されるものである。										
積算方法	従来,公益財団法人旭川市スポーツ協会の運営費補助金の中に含めていたが,同補助金の廃止に伴い,平成18年度から当該大会分相当の積算金額を負担金としており,概ね全体経費の3分の1程度としている。										
事業量指標と過去5年間の実績	① 交付団体数 単位:団体					② 大会参加者数 単位:人					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
	1	1	1	1	-	375	363	360	366	-	
成果指標と過去5年間の実績	① 単位:					② 単位:					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	

2収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越	0	0	0		0	
	市補助金	300	300	300		300	
	協議会負担						
	その他	986	756	736		786	
	収入合計	1,286	1,056	1,036		1,086	
	市補助率(%)	23.3%	28.4%	29.0%		27.6%	
	支出合計	1,286	1,056	1,036		1,086	
うち食糧費,交際費	95	96	89		93		
次年度繰越	0	0	0		0		
市負担額	一般財源	300	300	300		300	
	特定財源						
	人件費	正職員	0.1	0.1	0.1		0.1
		人工金額	721	728	737		747
	臨時・嘱託/会計年度任用職員						
その他事務費							
合計	1,021	1,028	1,037		1,047		
受益対象者数	363	360	366		363		
補助金単位コスト(単位:円)	2,813	2,856	2,833		2,884		
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない					
	団体の運営,会計処理等	◆ 交付申請等が定めたとおりにしている ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている					
◇ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である							
会計処理については,理事会の議決により予算書を作成し,理事会の議決により収支計算書等の作成をしており,監事から意見を付議し,北海道教育委員会に報告していることから適正に処理されている。また事業内容と補助目的は整合している。繰越金については,数年間継続して生じていたが,平成27年度以降は0となっている。今後も継続して点検し必要な見直しを行う。							

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価	
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 合致しない
	(3)補助率の参考基準	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上 	<ul style="list-style-type: none"> □ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) ■ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する(※左欄2項目とも適合) □ 概ね合致する □ 合致しない
2 公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 同様の事業を行っている民間団体等がない。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない	
3 必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 補助金がなくなった場合, 事業の維持は困難となる。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない	
4 効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 令和元年度は, 16チーム366人が参加し, 北海道内の野球少年団の相互交流と軟式野球競技のレベルアップが図られたほか, 少年野球の全道大会を本市で開催することで本市のスポーツ推進に寄与している。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない	
5 その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 本大会はスポーツ少年団の事務局を担う公益財団法人旭川市スポーツ協会が窓口となって事業を進めているが, 旭川市も主催者の一員であるため, 応分の負担が必要である。また, 本大会は, 旭川が生んだ大投手スタルヒンの栄光を顕彰するための銅像の建立を記念に, 市が主導し, 冠大会として, 少年野球の推進を図るため設立された経過があり, 道内の少年団の交流の場にもなっていることから, 終期の設定になじまない。		

4平成28年度行政評価への対応状況等

(行政評価)

補助金名称(当時)	スタルヒン杯争奪全道スポーツ少年団軟式野球交流大会負担金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
継続	—
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	
解決に向けた取組	

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	この大会は, 旭川が生んだ大投手スタルヒンの栄光を顕彰するための銅像の建立を記念に, 市が主導し, 冠大会として, 少年野球の推進を図るため設立された経過がある。現在はスポーツ少年団の事務局を持つ, 財団法人旭川市スポーツ協会が窓口となって事業を進めているが, 旭川市も主催者の一員であるため, 応分の負担が必要である。
外部評価	—	—
2次評価	継続	—

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1補助金の概要

補助金名称	バーサーロペット・ジャパン開催負担金										
補助金の性格	団体への事業費補助					始期	S55		終期	-	
予算事業名	バーサーロペット・ジャパン開催負担金					(事業コード)	053201				
所管部署	観光スポーツ交流部 スポーツ課					電話番号	内線 6333				
交付先(団体,個人等)	バーサーロペット・ジャパン組織委員会										
交付目的	(対象) 誰,何に対して	バーサーロペット・ジャパン組織委員会及び大会参加者									
	(意図) どういう状態にしたい	大会の安全で円滑な運営と参加者に対する良好なサービスの提供									
対象事業等の内容	冬季スポーツの振興と市民の体力作りを目的としたクロスカントリースキーと歩くスキーの祭典である,バーサーロペット・ジャパンの開催										
積算方法	負担額は,各年度に要する大会運営費及びコース整備費等を考慮し,市の予算の範囲内で支出することとしている。										
事業量指標と過去5年間の実績	① 交付団体数					②					
	単位:団体					単位:					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
1 1 1 1 1											
成果指標と過去5年間の実績	① 大会参加者数					②					
	単位:人					単位:					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
2,638 2,637 2,647 中止 中止											

2収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越	560	3,185	3,982	4,746	5,027	
	市負担金	37,500	34,500	38,500	18,420	38,500	
	負担金・補助金	3,800	2,800	2,800	0	3,800	
	協賛・広告料	6,935	6,955	385	0	6,945	
	参加料	3,837	3,931	4,176	0	4,783	
	その他	1,381	1,470	559	334	478	
	収入合計	54,013	52,841	50,402	23,500	59,533	
市補助率(%)	69.4%	65.3%	76.4%	78.4%	64.7%		
支出合計	50,828	48,859	45,656	18,473	59,533		
うち食糧費,交際費	1,395	1,431	0	0			
次年度繰越	3,185	3,982	4,746	5,027			
市負担額	一般財源	28,000	20,000	23,500	18,420	21,000	
	特定財源	9,500	14,500	15,000	0	17,500	
	人件費	正職員	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1
		人工金額	1,441	1,456	737	737	747
	臨時・嘱託/会計年度任用職員						
その他事務費							
合計	38,941	35,956	39,237	19,157	39,247		
受益対象者数	2,637	2,647	-	-	2,600		
補助金単位コスト(単位:円)	14,767	13,584	-	-	15,095		
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令, 条例, 規則, 要綱等に基づいている ◆ 支出目的, 支出範囲が法令の規定に抵触しない					
	団体の運営, 会計処理等	◆ 交付申請等が定めたとおりになっている ◆ 設立目的, 事業内容等と補助目的との整合性がとれている					
		◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し, 妥当である					
第41回大会は, 新型コロナウイルスの感染拡大の懸念から中止となったが, 大会運営のための事務局費用等に経費を要している。会計処理については, 実行委員会総会時に予算書の議決を得ている。また, 組織委員会総会時に会計監査報告とともに決算書の議決を得ており, 適正に処理されている。また, 事業内容と補助目的は整合している。							

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価	
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 合致しない
	(3)補助率の参考基準	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◆ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> □ 合致する ■ 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上 	<ul style="list-style-type: none"> □ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) ■ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する □ 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合致する(※左欄2項目とも適合) □ 概ね合致する □ 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 市民の健康保持増進や国際交流の促進に寄与している。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない	
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 収益性に乏しく, 補助金がなくなった場合に事業の継続が困難となる。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない	
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 約2500名の参加者を有する大会であり, 冬季におけるスポーツ推進の重要な機会となっているほか, 市外参加者の宿泊等による経済効果も期待される。また, 旭川で継続的に開催される数少ない国際大会であり, 本市の知名度向上に寄与するほか, ノウハウの蓄積は他の大会誘致に対しても有用であることから, 大会開催の効果は高い。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない	
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 本大会の開催経緯から, 本市との関わりが深いことをはじめ, 大会の実施にはコースの造成や, 大会運営に係る事務費など事業費を要するが, 主な収入である参加料や協賛金, 負担金収入では財源が不足することから, 補助率を設定すると, 大会の運営が困難になり, 目的を達成できないため。 多くの参加者を集め, 冬季スポーツの普及・振興に寄与しているほか, 国外他都市との交流の側面もあり, 終期を設定することはなじまない。		

4平成28年度行政評価への対応状況等
(行政評価)

補助金名称(当時)	バーサーペット・ジャパン開催負担金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
見直し	事業の持続可能性の確保, 受益者負担の適正化に向け, 事業規模, 参加料等を見直すこと。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
令和元年度	企画検討委員会を設け調査・検討をし, コースの一元化や参加料の見直しを行ったが, コロナ禍の影響により第40回大会が中止となったため, 効果の検証には至っていない。

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	コース一元化や参加料の見直しを行ったが, 事業費に占める市負担金の割合が高く, 市からの負担金なくしては大会の開催が困難である。
解決に向けた取組	組織委員会の構成団体として相応の負担を継続する必要があるが, 協賛金の拡大など新たな財源の確保や経費の見直し, 大会の魅力向上などについて企画検討委員会を中心に検討を行う。

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	冬季スポーツの普及・振興に寄与しており, 役割の大きさや参加者数を考慮すると, 継続して事業を実施する必要性は非常に高い。
外部評価	—	—
2次評価	継続	コロナ後の大会実施時にコースや参加料の見直しによる効果の検証を行うこと。

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1補助金の概要

補助金名称	旭川ハーフマラソン開催負担金										
補助金の性格	団体への事業費補助					始期	H21		終期	-	
予算事業名	各種スポーツ大会開催負担金・補助金					(事業コード)	05-32-02-01				
所管部署	観光スポーツ交流部			スポーツ課			係	電話番号	内線6333		
交付先(団体,個人等)	旭川ハーフマラソン実行委員会										
交付目的	(対象) 誰,何に対して	大会主催者及び参加者									
	(意図) どういう状態にしたい	大会経費の一部を負担することにより,円滑な大会運営を支援する。									
対象事業等の内容	ハーフマラソン・10km・5.3km・3km・ファミリーランの種目を設定し,各組(ファミリーランを除く)は6位までを表彰する。										
積算方法	旭川マラソン開催負担金要綱によって定める金額を負担金として支出する。負担金の額は,大会内容・経費を検討し,対象経費の2分の1以内で,かつ市長が必要と認めた予算の範囲内とする										
事業量指標と過去5年間の実績	① 交付団体数					②					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
	1	1	1	1	1						
成果指標と過去5年間の実績	① 大会参加者数					②					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
	4,650	4,176	4,540	4,505	0						

2収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越	5,746	5,267	3,117	4,466	3,543	
	市負担金	10,000	10,000	10,000		10,000	
	道新分担金	400	400	400		400	
	各種協賛金	1,820	2,200	2,120		1,950	
	参加料	15,021	16,892	16,333		15,089	
	その他	94	393	146		214	
	収入合計	33,081	35,152	32,116	4,466	31,196	
市補助率(%)	30.2%	28.4%	31.1%		32.1%		
支出合計	27,813	32,035	27,650	923	30,791		
	うち食糧費,交際費	500	636	549	29	500	
	次年度繰越	5,267	3,117	4,466	3,543	405	
市負担額	一般財源	0	0	0		0	
	特定財源	10,000	10,000	10,000		10,000	
	人件費	正職員	0.1	0.1	0.1		0.1
		人工金額	721	728	737		747
		臨時・嘱託/会計年度任用職員					
	その他事務費						
	合計	10,721	10,728	10,737		10,747	
	受益対象者数	4,176	4,540	4,505		5,000	
	補助金単位コスト(単位:円)	2,567	2,363	2,383		2,149	
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない					
	団体の運営,会計処理等	◆ 交付申請等が定めたとおりになっている ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている					
		◆ 会計処理が適正である ◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である					

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価	
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 概ね合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(2)受益者負担	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(3)補助率の参考基準	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◇ 上記以外 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上 	<input type="checkbox"/> 有(4年未満) <input type="checkbox"/> 有(4年以上) <input type="checkbox"/> 継続4年未満 <input type="checkbox"/> 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) <input checked="" type="checkbox"/> 同一団体補助だが, 見直し設定していない <input type="checkbox"/> 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する(※左欄2項目とも適合) <input type="checkbox"/> 概ね合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
2 公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 同様の事業を行っている民間団体等がなく, 市民の体力づくりや健康増進に寄与している。	(左の内容を踏まえての評価) <input checked="" type="checkbox"/> 公益性が高い <input type="checkbox"/> 公益性が高いとは言えない	
3 必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 補助金がなくなることによって事業の継続が困難となり, 市民のスポーツの機会確保に支障を来すため。	(左の内容を踏まえての評価) <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性が高いとは言えない	
4 効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 夏季におけるスポーツ推進の重要な機会であり, 市外参加者(全参加申込者のうち4割程度)も多数いることから, 飲食・宿泊等による本市の経済効果など大会開催の効果は高い。	(左の内容を踏まえての評価) <input checked="" type="checkbox"/> 効果が高い <input type="checkbox"/> 効果が高いとは言えない	
5 その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 本市が構成団体の一員として実施している事業のため, 内容の見直しは必要の都度行うが終期は設定していない。		

4平成28年度行政評価への対応状況等

(行政評価)

補助金名称(当時)	旭川ハーフマラソン開催負担金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
見直し	より旭川らしさを感じられるコース設定の視点を持ちながら, 運営コストの削減を図ること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
平成30年度	検討委員会を設置し, コースの変更を行った。

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	公道化により費用が大きく増大しており, 昨年度から参加料の見直しを行ったが, 大会中止となり効果の検証には至っていない。市からの負担金なくしては大会の開催が困難である。
解決に向けた取組	実行委員会の構成団体として対応の負担を継続する必要があるが, 協賛金の拡大など新たな財源の確保や経費の見直し, 大会の魅力向上などについて検討委員会を中心に検討を行う。

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	公道化による経費の増大など課題はあるものの, 夏季におけるスポーツ推進の重要な機会であることから, 実行委員会の構成団体として対応の負担を継続する必要がある。
外部評価	—	—
2次評価	継続	—

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1補助金の概要

補助金名称	旭川市スポーツ合宿誘致等推進協議会負担金									
補助金の性格	団体への事業費補助	始期	H29	終期	-					
予算事業名	スポーツ大会等誘致推進費	(事業コード)	05-32-03							
所管部署	観光スポーツ交流部	スポーツ課	係	電話番号	内線 6332					
交付先(団体,個人等)	旭川市スポーツ合宿誘致等推進協議会									
交付目的	(対象) 誰,何に対して	旭川市スポーツ合宿誘致等推進協議会及び合宿等参加者								
	(意図) どういう状態にしたい	スポーツ合宿等の誘致活動を行うとともに,選手・関係者へのサポート体制や合宿環境等の充実を図る。								
対象事業等の内容	スポーツ大会や合宿の誘致活動,スポーツ観光,スポーツ大会や合宿の受入れ及び体制等の充実を図る。									
積算方法	負担額は,負担対象経費から当該経費に係るその他負担金並びに協賛金等の額を控除した額を上限とし,市の予算の範囲内で支出することとしている。									
事業量指標と過去5年間の実績	① 国際・全国等スポーツ大会数 単位:件					② 単位:				
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
		12	13	10	3					
成果指標と過去5年間の実績	① スポーツ合宿者数 単位:人					② 単位:				
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
		2,759	3,395	3,908	2,042					

2収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越	0	105	2,546	2,546	2,546	
	市補助金	500	4,200	12,588	197	14,000	
	協議会負担		300	300	0	300	
	その他	1	0	195	0	100	
	収入合計	501	4,605	15,629	2,743	16,946	
	市補助率(%)	99.8%	91.2%	80.5%	7.2%	82.6%	
	支出合計	396	2,059	13,083	197	16,946	
	うち食糧費,交際費	8	78	278	9	300	
	次年度繰越	105	2,546	2,546	2,546	0	
市負担額	一般財源	500	4,200	11,587	197	13,000	
	特定財源	0	0	1,000	0	1,000	
	人件費	正職員	0.1	0.8	1.5	0.1	1.0
		人工金額	721	5,826	11,054	737	7,466
		臨時・嘱託/会計年度任用職員					
	その他事務費						
	合計	1,221	10,026	23,641	934	21,466	
	受益対象者数	1	1	1	1	1	
	補助金単位コスト(単位:円)	1,221,000	10,026,000	23,641,000	934,000	21,466,000	
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない					
	団体の運営,会計処理等	◆ 交付申請等が定めたとおりになっている ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている					
		◆ 会計処理が適正である ◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である					
		会計処理については,総会の承認により予算書を作成し,また,総会の承認により収支決算書を作成し,監事からの会計監査報告を受けていることから,適正に処理されている。また事業内容と補助目的は整合している。繰越金については,随時点検し,必要に応じて見直しを行う。					

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価	
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 概ね合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(2)受益者負担	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(3)補助率の参考基準	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◆ 上記以外 	<input type="checkbox"/> 合致する <input checked="" type="checkbox"/> 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上 	<input type="checkbox"/> 有(4年未満) <input type="checkbox"/> 有(4年以上) <input type="checkbox"/> 継続4年未満 <input type="checkbox"/> 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) <input checked="" type="checkbox"/> 同一団体補助だが, 見直し設定していない <input type="checkbox"/> 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する(※左欄2項目とも適合) <input type="checkbox"/> 概ね合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) ・同様の事業を行っている民間団体等がない。 ・総合計画の重点施策の推進に寄与している。	(左の内容を踏まえての評価) <input checked="" type="checkbox"/> 公益性が高い <input type="checkbox"/> 公益性が高いとは言えない	
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 市内唯一の団体であるが, 収益性が無いため, 補助金を廃止した場合, 事業の維持が困難となる。	(左の内容を踏まえての評価) <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性が高いとは言えない	
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 誘致活動の結果, 令和元年度にはレスリング・柔道・スピードスケートの3種目について日本代表レベルの合宿が実現し, うちレスリング合宿については翌年度も継続した実施が予定(実際は新型コロナの影響により中止)されるなど, 合宿地としての知名度向上に繋がっている。また, それらの合宿受入れの際には, 地域の青少年と代表選手との交流の場も設けられ, それにより地域の競技力向上, スポーツ振興に貢献している。	(左の内容を踏まえての評価) <input checked="" type="checkbox"/> 効果が高い <input type="checkbox"/> 効果が高いとは言えない	
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 事業の必要性及び市の関与の度合いを勘案し, 補助率を設定している。		

4平成28年度行政評価への対応状況等

(行政評価)

補助金名称(当時)	-
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
-	-
(2)対応年度	具体的な内容と効果
-	-

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
-	-

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	
解決に向けた取組	

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	競技力の向上や裾野の拡大などのスポーツ振興が図られるほか, 観光客誘致など地域活性化, スポーツ大会や合宿適地としての本市の知名度向上につながるため, 重要な政策である。
外部評価	-	-
2次評価	継続	-

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1補助金の概要

補助金名称	各種大会運営費補助金										
補助金の性格	団体への事業費補助					始期	S55		終期	-	
予算事業名	体育振興費					(事業コード)	05-31-10-01				
所管部署	観光スポーツ交流部			スポーツ課			係	電話番号		内線6333	
交付先(団体,個人等)	旭川市で開催される全道,全国大会の主催者										
交付目的	(対象) 誰,何に対して	各種スポーツ大会の主催者及び参加者									
	(意図) どういう状態にしたい	大会経費の一部について補助を行うことにより,大会の円滑な運営を目指す。									
対象事業等の内容	旭川市のスポーツ活動の促進を図るため,市内で開催される全道または全国的な参加規模をもって開催されるスポーツ大会に対して旭川市スポーツ団体等に対する補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。										
積算方法	国際親善試合又はこれに準ずる大会10万円,全国的な参加規模をもって開催される大会350名以下3万円,351名以上700名以下5万円,701名以上10万円,全道的な参加規模をもって開催される大会350名以下1万5千円,351名以上700名以下2万5千円,701名以上10万円。										
事業量指標と過去5年間の実績	① 交付件数 単位:件					② 大会参加者数 単位:人					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
	13	10	7	6	1	5,151	4,825	3,098	3,467	55	
成果指標と過去5年間の実績	① 市有スポーツ施設利用者数 単位:千人					② 単位:					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
	2,197	2,074	2,093	1,982	1,039						

2収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越						
	市補助金	445	375	345	15	460	
	団体負担	11,355	13,912	14,476	122	14,540	
	その他						
	収入合計	11,800	14,287	14,821	137	15,000	
	市補助率(%)	3.8%	2.6%	2.3%	10.9%	3.1%	
	支出合計	11,800	14,287	14,821	137	15,000	
	うち食糧費,交際費	985	902	896	9	1,000	
市負担額	次年度繰越						
	一般財源	445	375	345	15	460	
	特定財源						
	人件費	正職員	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
		人工金額	721	728	737	737	747
	臨時・嘱託/会計年度任用職員						
	その他事務費						
	合計	1,166	1,103	1,082	752	1,207	
受益対象者数		4,825	3,098	3,467	55	5,200	
補助金単位コスト(単位:円)		242	356	312	13,673	232	
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない					
	団体の運営,会計処理等	◆ 交付申請等が定めたとおりになっている ◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている ◇ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である					

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価	
1 補助金 交付 基準 との 適合 性	(1)対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 概ね合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(2)受益者負担	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(3)補助率の参考基準	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◇ 上記以外 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上 	<input type="checkbox"/> 有(4年未満) <input type="checkbox"/> 有(4年以上) <input type="checkbox"/> 継続4年未満 <input checked="" type="checkbox"/> 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) <input type="checkbox"/> 同一団体補助だが, 見直し設定していない <input type="checkbox"/> 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する(※左欄2項目とも適合) <input type="checkbox"/> 概ね合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 同様の事業を行っている民間団体等がない。	(左の内容を踏まえての評価) <input checked="" type="checkbox"/> 公益性が高い <input type="checkbox"/> 公益性が高いとは言えない	
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 大会運営費の一部を補助することにより, 財政基盤が十分ではない団体においても大会を開催することができるため, スポーツの裾野拡大を図ることができることから, 本市のスポーツ推進のため必要である。	(左の内容を踏まえての評価) <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性が高いとは言えない	
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 本市においてスポーツ大会が開催されることは, スポーツ環境づくり及びスポーツ推進に寄与するものである。また, 道内及び全国からの参加者の宿泊等による交流人口の増加による経済効果があるほか, スポーツを通じた地域活性化を図ることにつながる。 【補助実績】H28年度13件(5,151人), H29年度10件(4,825人), H30年度7件(3,098人), R1年度6件(3,467人), R2年度1件(55人)	(左の内容を踏まえての評価) <input checked="" type="checkbox"/> 効果が高い <input type="checkbox"/> 効果が高いとは言えない	
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。		

4平成28年度行政評価への対応状況等

(行政評価)

補助金名称(当時)	各種体育大会運営費補助金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
継続	—
(2)対応年度	具体的な内容と効果
—	—

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
令和2年度	令和元年度包括外部監査において, 概算払の必要性判断について厳密性を求められる旨指摘があったことから, 申請に基づき一律に概算払を行うのではなく, 相手方から支払計画書等の提出など概算払の必要性を確認するよう事務処理を見直した。

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	
解決に向けた取組	

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	大会誘致の促進や競技団体との信頼関係の醸成に大きな効果があり, 円滑な大会運営を支援する市の姿勢を示す上で重要な施策である。
外部評価	—	—
2次評価	継続	—

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1補助金の概要

補助金名称	各種大会派遣費補助金										
補助金の性格	団体・個人への事業費補助					始期	S55		終期	-	
予算事業名	体育振興費					(事業コード)	05-31-10-01				
所管部署	観光スポーツ交流部			スポーツ課			係	電話番号	内線6333		
交付先(団体,個人等)	全国大会,世界大会等に出場する選手・監督等										
交付目的	(対象) 誰,何に対して	全国大会,世界大会等のスポーツ大会に出場する選手・監督等に対し派遣に係る経費(旅費及び宿泊費)の一部を補助する。									
	(意図) どういう状態にしたい	派遣費用の一部を補助することにより,選手等の負担を軽減する。									
対象事業等の内容	スポーツ振興基金の創設目的に沿った形で,市民が参加する全国大会,世界大会等の区分に応じて補助金を交付する。										
積算方法	旭川市スポーツ団体等に対する補助金交付要綱によって定める金額を補助する。全国大会1人1万円(1競技,1種目30人を限度とする。以下同じ。),オリンピック,世界選手権大会,アジア競技大会及びユニバーシアード大会等1人4万円,国民体育大会1人5千円。										
事業量指標と過去5年間の実績	① 交付件数 単位:件					② 対象人数 単位:人					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
	93	92	111	91	16	579	535	640	507	99	
成果指標と過去5年間の実績	① スポーツ実施率 単位:%					② 単位:					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
	27.7	27.5	27.5	28.6	28.6						

2収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越						
	収入内訳						
	市補助金	4,185	5,161	4,046	792	6,780	
	個人負担	53,391	82,867	51,302	10,209	61,020	
	その他						
	収入合計	57,576	88,028	55,348	11,001	67,800	
	市補助率(%)	7.3%	5.9%	7.3%	7.2%	10.0%	
支出合計	57,576	88,028	55,348	11,001	67,800		
うち食糧費,交際費	527	3,340	2,410	99	2,800		
次年度繰越							
市負担額	一般財源						
	特定財源	4,185	5,161	4,046	792	6,780	
	人件費	正職員	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
		人工金額	721	728	737	737	747
	臨時・嘱託/会計年度任用職員						
その他事務費							
合計	4,906	5,889	4,783	1,529	7,527		
受益対象者数	535	640	507	99	669		
補助金単位コスト(単位:円)	9,170	9,202	9,434	15,444	11,251		
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない					
	団体の運営,会計処理等	◆ 交付申請等が定めたとおりにになっている ◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている ◇ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である					

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価	
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 概ね合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(2)受益者負担	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(3)補助率の参考基準	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 団体 1/2以内 ◆ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◇ 上記以外 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上 	<input type="checkbox"/> 有(4年未満) <input type="checkbox"/> 有(4年以上) <input type="checkbox"/> 継続4年未満 <input checked="" type="checkbox"/> 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) <input type="checkbox"/> 同一団体補助だが, 見直し設定していない <input type="checkbox"/> 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する(※左欄2項目とも適合) <input type="checkbox"/> 概ね合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 同様の事業を行っている民間団体等がない。	(左の内容を踏まえての評価) <input checked="" type="checkbox"/> 公益性が高い <input type="checkbox"/> 公益性が高いとは言えない	
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 経済的な理由に関わらずスポーツに取り組める環境をつくるものであり, 本市のスポーツ推進のため必要である。	(左の内容を踏まえての評価) <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性が高いとは言えない	
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 補助を行ったことにより金銭的負担が軽減され, 全国大会出場への促進につながるとともに, トップレベルの選手たちとの試合やプレーを間近で観ることにより技術力の向上が図られた。 【補助実績】H28年度93件(579人), H29年度92件(535人), H30年度111件(640人), R1年度91件(507人), R2年度16件(99人)	(左の内容を踏まえての評価) <input checked="" type="checkbox"/> 効果が高い <input type="checkbox"/> 効果が高いとは言えない	
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。		

4平成28年度行政評価への対応状況等

(行政評価)

補助金名称(当時)	各種体育大会派遣費補助金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
見直し	他都市の状況や市内の類似する補助制度を参考に上限額等の見直しを検討すること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
令和2年度	令和元年度包括外部監査を踏まえ, 上限額等の見直しを実施し, 全国大会出場の場合において, 1人当たりの上限額を8千円から1万円に増額し, 補助対象人数を20人から30人に増やした。(適用は令和3年度から)

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
令和2年度	口座払を原則とし, 申請者の負担軽減を図るとともに補助金の受領漏れを防止した。

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	
解決に向けた取組	

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	全国大会出場への促進や有力選手の育成に大きな効果があり, スポーツ推進を支援する市の姿勢を示す上で重要な施策である。
外部評価	—	—
2次評価	継続	—

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1 補助金の概要

補助金名称	旭川市国際交流委員会負担金																							
補助金の性格	団体への補助(運営費・事業費)					始期	H2		終期	-														
予算事業名	国際交流振興費					(事業コード)	073101																	
所管部署	観光スポーツ交流部			都市交流課			係	電話番号	内線 80-2531															
交付先(団体,個人等)	旭川市国際交流委員会																							
交付目的	(対象) 誰,何に対して	旭川市国際交流活動基金条例で定める国際交流活動事業及びその事業を実施する旭川市国際交流委員会																						
	(意図) どういう状態にしたい	本市の国際交流活動の振興を図り,もって本市の国際化を推進する。																						
対象事業等の内容	旭川市国際交流活動基金条例で定める国際交流活動事業(①国際ボランティア活動の振興事業,②語学研修団体(営利団体を除く。)の育成事業,③ホームステイボランティアの振興事業,④通訳ボランティアの活動助長事業,⑤研修会,講演会等の開催事業,⑥その他本市の国際親善交流振興のため特に必要な事業)																							
積算方法	旭川市国際交流委員会の運営及び対象事業の実施に要する経費に対し,予算の範囲内で交付する。																							
事業量指標と過去5年間の実績	① 事業の実施回数					②																		
	単位:件					単位:																		
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02														
156					139					141					140					96				
成果指標と過去5年間の実績	① 参加者数及び利用者数					②																		
	単位:人					単位:																		
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02														
25,738					29,164					17,158					12,453					7,720				

2 収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越	875	572	640	1,135	907
	市負担金	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
	国際交流団体負担金	270	270	270	270	270
	事業収入	1,266	2,340	1,729	322	2,030
	その他	1		200	1	1
	収入合計	9,412	10,182	9,839	8,728	10,208
	市補助率(%)	74.4%	68.7%	71.1%	80.2%	68.6%
支出合計	うち食糧費,交際費	112	441	198	0	260
	次年度繰越	572	640	1,135	907	0
	一般財源	0	0	0	0	0
	特定財源	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
市負担額	人件費	正職員	0.01	0.01	0.01	0.01
		人工金額	72	73	74	74
	臨時・嘱託/会計年度任用職員					
	その他事務費					
	合計	7,072	7,073	7,074	7,074	7,075
受益対象者数	29,164	17,158	12,453	7,720	9,225	
補助金単位コスト(単位:円)	242	412	568	916	767	
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない				
	団体の運営,会計処理等	◆ 交付申請等が定めたとおりにになっている ◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている ◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である				
旭川市国際交流委員会負担金交付要綱の規定に従い,適切に処理している。						

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費 ◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◆ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	■ 合致する □ 概ね合致する □ 合致しない
	(2)受益者負担 ◆ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外	■ 合致する □ 合致しない
	(3)補助率の参考基準 ◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◆ 上記以外	□ 合致する ■ 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定) ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上	□ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) ■ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠) ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外	■ 合致する □ 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付 ◇ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◆ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外	□ 合致する(※左欄2項目とも適合) ■ 概ね合致する □ 合致しない
2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) ・民営化, 自立化の余地がない ・各種事業の実施を通じて, 本市及び近隣市町村の住民に対し国際交流の機会を提供しており, 国際理解が促進されているほか, 余暇活動の充実にも寄与している	(左の内容を踏まえての評価) ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない
3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) ・類似したサービス等を提供する団体等がない ・旭川市国際交流活動基金条例で定める国際交流活動事業を実施するために設置された団体であり, 補助金がなくなった場合, 事業の維持は困難	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない
4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 負担金の交付により団体の円滑な運営体制の整備や適切な参加負担のでの事業実施が図られており, 令和2年度は, コロナ禍の影響により事業数と実施回数, 参加者数ともに減少したが, 市民向けの外国語の学習や外国文化に触れる講座, 在住外国人への日本語教室の開催を通じ, 延べ7,720人に身近な場で異文化と触れ合う機会を提供し, 本市の国際交流活動の振興を図った。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない
5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 (3)補助率の参考基準: 交付先は, 旭川市国際交流活動基金条例で定める国際交流活動事業を実施するために設置された団体であり, 不特定多数を対象に採算性が低く公益性が高い事業を実施しており, 補助率を定めて交付することはなじまない。 (4)見直し期間: 本負担金の交付対象である旭川市国際交流委員会は, 本市の有する文化的, 経済的特性を活用し, 市民と外国人との交流等の事業を行うことで, 国際交流活動の振興を図り本市の国際化に寄与することを目的として設置された団体であり, この目的の実現のために継続的な事業実施が必要であることから, 終期を設定することはなじまない。	

4平成28年度行政評価への対応状況等(行政評価)

補助金名称(当時)	旭川市国際交流委員会負担金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
継続	事業内容の精査や効率化, 他財源の確保に取り組むこと。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
平成29年度	国際交流事業に関する補助制度等について情報収集・検討しているが, 現在の体制・事業内容の中で活用可能な制度等が見つからない。既存の制度等を活用するためには, 補助率に応じた自主財源の確保や, 補助の終了後の継続性についても考慮する必要があることから, 事業化には至っていない。

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	本負担金の財源である旭川市国際交流活動基金は, 近年の低金利により基金状況が悪化しており, 将来的に枯渇が危惧される。
解決に向けた取組	安定した事業継続のため, 事業の効率化を進めるとともに, 各種助成金など他財源を活用する事業の実施を検討する。

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	地域の国際化の推進や多文化共生社会の実現に向けて, 行政と同委員会とが連携を図りながら継続的に実施する必要がある。
外部評価	—	—
2次評価	継続	寄付金を募るなど財源の確保, 事業の在り方について検討すること。

結果欄: 継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1 補助金の概要

補助金名称	旭川市哈爾濱友好都市提携25周年記念事業負担金										
補助金の性格	団体への事業費補助					始期	R2		終期	R2	
予算事業名	旭川市哈爾濱市友好都市提携25周年記念事業費					(事業コード)	073106				
所管部署	観光スポーツ交流部			都市交流課			係	電話番号	内線 80-2531		
交付先(団体,個人等)	旭川市・哈爾濱市友好都市提携25周年記念事業実行委員会										
交付目的	(対象) 誰,何に対して	本市と中国哈爾濱市との友好都市提携25周年記念事業の実施主体である実行委員会									
	(意図) どういう状態にしたい	本市と中国哈爾濱市との友好都市提携25周年記念事業の実施により,両市の友好交流の促進が図られた状態									
対象事業等の内容	当該実行委員会は本市をはじめ商工会議所,友好交流団体等で構成された団体であり,オンライン調印式や青少年オンライン囲碁交流などの記念事業を通じて,本市と哈爾濱市の友好交流と相互理解を促進する事業である。										
積算方法	旭川市・哈爾濱市友好都市提携25周年記念事業負担金交付要綱に定める交付対象経費の総額から,他団体からの負担金等を控除した額を上限とし,予算の範囲内とする。										
事業量指標と過去5年間の実績	① 事業の実施回数					②					
	単位:件						単位:				
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
					7						
成果指標と過去5年間の実績	① 参加者及び利用者数					②					
	単位:人					単位:					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
					2,558						

2 収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	収入内訳	前年度繰越			0		
		市負担金			1,159		
		他団体負担金			174		
		道補助金			500		
	収入合計					1,833	
	市補助率(%)					63.2%	
	支出合計					1,833	
	うち食糧費,交際費					124	
	次年度繰越					0	
	市負担額	一般財源					659
特定財源					500		
人件費		正職員				0.01	
		人工金額				74	
その他事務費							
合計					1,233		
受益対象者数					2,558		
補助金単位コスト(単位:円)					482		
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない					
	団体の運営,会計処理等	◆ 交付申請等が定めたとおりにになっている					
		◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている					
◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である 旭川市・哈爾濱市友好都市提携25周年記念事業負担金交付要綱の規定に従い,適正に処理されている。							

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価	
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費	<input type="checkbox"/> 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 <input type="checkbox"/> 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 <input checked="" type="checkbox"/> 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 <input type="checkbox"/> 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	<input type="checkbox"/> 合致する <input checked="" type="checkbox"/> 概ね合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(2)受益者負担	<input checked="" type="checkbox"/> 適正な負担を設定 <input type="checkbox"/> 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 <input type="checkbox"/> 上記以外	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(3)補助率の参考基準	<input type="checkbox"/> 団体 1/2以内 <input type="checkbox"/> 個人 1/3以内 <input type="checkbox"/> 個人等に対する利子補給 5%以内 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外	<input type="checkbox"/> 合致する <input checked="" type="checkbox"/> 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定)	<input type="checkbox"/> 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) <input type="checkbox"/> 奨励目的の補助, 終期を設定 <input type="checkbox"/> 終期未設定で, 補助継続4年以上	<input checked="" type="checkbox"/> 有(4年未満) <input type="checkbox"/> 有(4年以上) <input type="checkbox"/> 継続4年未満 <input type="checkbox"/> 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) <input type="checkbox"/> 同一団体補助だが, 見直し設定していない <input type="checkbox"/> 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5)交付規程(支出根拠)	<input checked="" type="checkbox"/> 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 <input type="checkbox"/> 上記以外	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付	<input type="checkbox"/> 実績報告時, 支出証拠書類提出有 <input checked="" type="checkbox"/> 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 <input checked="" type="checkbox"/> 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 <input type="checkbox"/> 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) <input type="checkbox"/> 上記以外	<input type="checkbox"/> 合致する(※左欄2項目とも適合) <input checked="" type="checkbox"/> 概ね合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) ・本市の友好都市である哈爾濱市との友好親善に資する事業である ・市内施設でのパネル展や実施事業のメディアへの掲載などを通じて, 不特定多数の市民に対し本市と哈爾濱市との交流を紹介しており, 市民の国際理解の促進や国際意識の醸成に寄与している	(左の内容を踏まえての評価) <input checked="" type="checkbox"/> 公益性が高い <input type="checkbox"/> 公益性が高いとは言えない
	3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) ・両市の友好都市提携を記念し, 市のみならず民間団体が参画し, 一層の交流促進に向けた各種事業を実施するものであり, 本市の国際化の推進に資するものであることから, 事業実施に係る負担金の交付が必要	(左の内容を踏まえての評価) <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性が高いとは言えない
	4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) ・パネル展(延べ来場者2,408人)や青少年オンライン囲碁交流(参加青少年16名)などの記念事業の実施を通じて, 哈爾濱市との友好親善及び市民の国際理解の促進や国際意識の醸成が図られた	(左の内容を踏まえての評価) <input checked="" type="checkbox"/> 効果が高い <input type="checkbox"/> 効果が高いとは言えない
	5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 (1)対象経費:「食糧費及び交際費の執行基準」(平成16年4月1日付け企画財政部長通知)を準用し, 食糧費を対象としている。 (3)補助率の参考基準:当該実行委員会は, 友好都市哈爾濱市との周年事業を実施するために設立された団体であり, 補助率を定めて交付することはその性格上なじまない。 (4)見直し期間について, 1年限りの周年事業を行う補助金のため, 終期設定していない。	

4平成28年度行政評価への対応状況等(行政評価)

補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
--------	-----------

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	
解決に向けた取組	

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	終了	
外部評価	—	—
2次評価	終了	

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1 補助金の概要

補助金名称	旭川市・南さつま市姉妹都市交流実行委員会(仮称)負担金										
補助金の性格	団体への事業費補助					始期	R2		終期	R2	
予算事業名	国内都市交流費					(事業コード)	121201				
所管部署	観光スポーツ交流部			都市交流課			係	電話番号	内線 80-2535		
交付先(団体,個人等)	旭川市・南さつま市姉妹都市提携5周年記念事業実行委員会										
交付目的	(対象) 誰,何に対して	本市と鹿児島県南さつま市との姉妹都市提携5周年記念事業の実施主体である実行委員会									
	(意図) どういう状態にしたい	本市と鹿児島県南さつま市との姉妹都市提携5周年記念事業の実施により,両市の友好交流の促進が図られた状態									
対象事業等の内容	当該実行委員会は本市をはじめ旭川鹿児島県人会や商工会議所,南さつま市との交流に関係の深い民間団体等で構成された組織であり,南さつま市紹介パネル展の開催や南さつま市で開催された旭川の魅力発信につながるイベントへの協力を通じて,本市と南さつま市の友好交流と相互理解を促進する事業である。										
積算方法	旭川市・南さつま市姉妹都市提携5周年記念事業負担金交付要綱に定める交付対象経費の総額から,他団体からの負担金等を控除した額を上限とし,予算の範囲内とする。										
事業量指標と過去5年間の実績	① 事業の実施回数					②					
	単位:件	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
成果指標と過去5年間の実績	① 参加者及び利用者数					②					
	単位:人	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02

2 収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状	収入	前年度繰越			0		
	内訳	市負担金			476		
		他団体負担金			34		
		収入合計				510	
	市補助率(%)				93.3%		
	支出合計	うち食糧費,交際費				0	
		次年度繰越				0	
	市負担額	一般財源				476	
		特定財源				0	
		人件費	正職員				0.01
人工金額						74	
臨時・嘱託/会計年度任用職員							
その他事務費							
合計				550			
受益対象者数				25,600			
補助金単位コスト(単位:円)				21			
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない					
	団体の運営,会計処理等	◆ 交付申請等が定めたとおりになっている ◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている ◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である					
		旭川市・南さつま市姉妹都市提携5周年記念事業負担金交付要綱の規定に従い,適正に処理されている。					

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価	
1 補助金交付基準との適合性	(1) 対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外 ◆ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象 	<input type="checkbox"/> 合致する <input checked="" type="checkbox"/> 概ね合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(2) 受益者負担	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(3) 補助率の参考基準	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◆ 上記以外 	<input type="checkbox"/> 合致する <input checked="" type="checkbox"/> 合致しない
	(4) 見直し期間(終期設定)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◇ 終期末設定で, 補助継続4年以上 	<input checked="" type="checkbox"/> 有(4年未満) <input type="checkbox"/> 有(4年以上) <input type="checkbox"/> 継続4年未満 <input type="checkbox"/> 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) <input type="checkbox"/> 同一団体補助だが, 見直し設定していない <input type="checkbox"/> 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
	(5) 交付規程(支出根拠)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外 	<input checked="" type="checkbox"/> 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(6) 支出を証する書類の添付	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◆ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外 	<input type="checkbox"/> 合致する(※左欄2項目とも適合) <input checked="" type="checkbox"/> 概ね合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
2 公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) ・本市の姉妹都市である鹿児島県南さつま市との友好親善に資する事業である ・旭川駅北広場でのパネル展や, 南さつま市で開催されたイベントへの協力を通じて, 今後の交流人口の拡大及び経済の活性化に寄与することを目的に実施した	(左の内容を踏まえての評価) <input checked="" type="checkbox"/> 公益性が高い <input type="checkbox"/> 公益性が高いとは言えない	
3 必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) ・両市の姉妹都市提携を記念し, 官民一体となって交流の促進を図るものであることから, 負担金の交付による支援が必要	(左の内容を踏まえての評価) <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性が高いとは言えない	
4 効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) ・本市と南さつま市の友好交流が促進された ・本市でのパネル展(延べ来場者数およそ25,000人)の開催や南さつま市でのイベント(参加者およそ600人)への協力により, 多数の両市市民に対し本市と南さつま市との交流が周知された	(左の内容を踏まえての評価) <input checked="" type="checkbox"/> 効果が高い <input type="checkbox"/> 効果が高いとは言えない	
5 その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 (1) 対象経費: 「食糧費及び交際費の執行基準」(平成16年4月1日付け企画財政部長通知)を準用し, 食糧費を対象としている。 (3) 補助率の参考基準: 当該実行委員会は, 姉妹都市南さつま市との周年事業を実施するために設立された団体であり, 補助率を定めて交付することはその性格上なじまない。 (4) 見直し期間について, 1年限りの周年事業を行う補助金のため, 終期設定していない。		

4平成28年度行政評価への対応状況等(行政評価)

補助金名称(当時)	
(1) 行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
(2) 対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
--------	-----------

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	
解決に向けた取組	

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	終了	
外部評価	—	—
2次評価	終了	

結果欄: 継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

令和3年度行政評価 補助金等評価表

1 補助金の概要

補助金名称	旭川市姉妹友好都市青少年交流補助金										
補助金の性格	団体への事業費補助					始期	H18		終期	-	
予算事業名	国際親善交流費					(事業コード)	073102				
所管部署	観光スポーツ交流部			都市交流課			係	電話番号	内線 80-2531		
交付先(団体,個人等)	令和2年度:旭川・ブルーミントン・ノーマル姉妹都市委員会										
交付目的	(対象) 誰,何に対して	派遣又は受入により姉妹友好都市と青少年(おおむね小学校高学年から高校生相当の年齢にある者)交流事業を行う団体									
	(意図) どういう状態にしたい	本市と海外の姉妹友好都市との青少年交流を促進し,本市の次代を担う幅広い視野を持つ国際性豊かな人材を育成するとともに,姉妹友好都市との相互交流を一層図る。									
対象事業等の内容	姉妹友好都市との青少年交流事業の派遣・受入に要する経費の一部を補助するもので,本市と姉妹友好都市との交流を一層促進するとともに,本市の次代を担う幅広い視野を持つ国際性豊かな人材を育成する事業である。										
積算方法	補助対象経費の2分の1以内とし,予算の範囲内で決定する。										
事業量指標と過去5年間の実績	① 実施事業数					②					
	単位:件					単位:					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
	3	5	5	5	3						
成果指標と過去5年間の実績	① 参加者数					②					
	単位:人					単位:					
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
	23	208	59	76	17						

2 収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越	1,469	1,454	945	701	0	
	市補助金	1,350	1,324	1,371	711	550	
	参加者負担金	4,651	3,567	4,149			
	他団体負担金			452		1,840	
	事業収入			938			
	広告収入	1,759				1,500	
	その他	332			32	350	
	収入合計	9,561	6,345	7,855	1,444	4,240	
	市補助率(%)	14.1%	20.9%	17.5%	49.2%	13.0%	
	支出合計	8,107	5,400	7,154	1,444	4,240	
うち食糧費,交際費	2,325	432	212	23	1,710		
次年度繰越	1,454	945	701	0	0		
市負担額	一般財源	0	0	0	0	0	
	特定財源	1,350	1,324	1,371	711	550	
	人件費	正職員	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
		人工金額	72	73	74	74	75
	臨時・嘱託/会計年度任用職員						
その他事務費							
合計	1,422	1,397	1,445	785	625		
受益対象者数	208	59	76	17	171		
補助金単位コスト(単位:円)	6,837	23,678	19,013	46,176	3,655		
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない ◆ 交付申請等が定めたとおりになっている					
	団体の運営,会計処理等	◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている ◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である 補助金交付要綱に規定する実績報告に基づき内容を精査したところ,適合していると認められた。					

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価		
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費	◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	<input type="checkbox"/> 合致する	
		◆ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象 ◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	■ 概ね合致する <input type="checkbox"/> 合致しない	
	(2)受益者負担	◆ 適正な負担を設定 ◆ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◇ 上記以外	■ 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない	
		(3)補助率の参考基準	◆ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◇ 上記以外	■ 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(4)見直し期間(終期設定)		◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上	<input type="checkbox"/> 有(4年未満) <input type="checkbox"/> 有(4年以上) <input type="checkbox"/> 継続4年未満 <input type="checkbox"/> 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) ■ 同一団体補助だが, 見直し設定していない <input type="checkbox"/> 奨励目的補助だが, 終期を設定していない
		(5)交付規程(支出根拠)	◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外	■ 合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付		◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◇ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外	<input type="checkbox"/> 合致する(※左欄2項目とも適合) ■ 概ね合致する <input type="checkbox"/> 合致しない
		2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) ・本市の姉妹友好都市との友好親善に資する事業である ・青少年交流事業における訪問団等の相互派遣や親善大会等を通じて, 参加青少年のみならず, 多くの市民に各都市との交流の周知や参加機会が提供されており, 国際理解が促進されている	(左の内容を踏まえての評価) ■ 公益性が高い <input type="checkbox"/> 公益性が高いとは言えない
		3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) ・類似したサービス等を提供する団体等がない ・廃止した場合には参加者負担金の値上げ等の対応が必要になり, 事業継続が困難となる	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性が高いとは言えない
	4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 交流団体等による姉妹友好都市との青少年交流事業を支援することにより, 幅広い分野での交流の発展に資するとともに, 団体活動の充実や活性化にも寄与している。 過去5年度で延べ383人が参加し, 事業の実施を通じて, 青少年の幅広い視野と国際感覚の涵養を図るとともに, 交流関係者や参加青少年の家族・友人などを含めた多くの市民の国際理解・交流の促進が図られた。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い <input type="checkbox"/> 効果が高いとは言えない	
	5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 (1)対象経費:食糧費については, 姉妹友好都市からの青少年受入に係る経費のみを補助対象とし, それ以外は補助対象外としている。 (4)見直し期間:姉妹友好都市との交流は継続して実施することが望ましく, 終期を設定することはなじまない。		

4平成28年度行政評価への対応状況等
(行政評価)

補助金名称(当時)	旭川市姉妹友好都市青少年交流補助金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
見直し	繰越金を考慮し, 受益者負担額と補助金額の適正化を図ること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
平成29年度	事業内容の収支バランスを検証するとともに, 受益者負担額を考慮し, 適正な金額の補助を行っている。

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	本負担金の財源である旭川市国際交流活動基金は, 近年の低金利により基金状況が悪化しており, 将来的に枯渇が危惧される。
解決に向けた取組	安定した事業継続のため, 事業の効率化を進めるとともに, 事業の実施においては適正な受益者負担額を設定する。

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	姉妹友好都市との交流を一層促進するとともに, 幅広い視野を持つ国際性豊かな人材の育成に資する事業であり, 本市の国際化推進とまちづくりに活力を与える事業である。
外部評価	—	—
2次評価	継続	寄付金を募るなど財源の確保, 事業の在り方について検討すること。

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)